

⑦ 亜急性期病室入院中におけるA得点とB得点

亜急性期入院医療管理料1の患者は、A得点「0～1点」が89.9%を占め、B得点「0～2点」が72.7%を占める。また、B得点「6～12点」の患者は15.2%を占めている。なお、A得点「0～1点」かつB得点「0～2点」の患者は66.7%を占める。

この傾向は亜急性期入院医療管理料2の患者においてもほぼ同様であるが、B得点「0～2点」は4%程大きい。

図表 3-51 「A. モニタリング及び処置等」得点、「B. 患者の状況等」得点の分布

[亜急性期入院医療管理料1]

(N=2383)		B患者の状況等					合計
		0～2点	3点	4点	5点	6～12点	
A モ ニ タ リ ン グ 及 び 処 置 等	0～1点	66.7%	4.8%	3.6%	2.5%	12.3%	89.9%
	2点	5.1%	0.3%	0.4%	0.2%	1.8%	7.8%
	3点	0.6%	0.1%	0.1%	0.0%	0.7%	1.5%
	4点	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.5%
	5～10点	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
	合計	72.7%	5.2%	4.1%	2.8%	15.2%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料2]

(N=382)		B患者の状況等					合計
		0～2点	3点	4点	5点	6～12点	
A モ ニ タ リ ン グ 及 び 処 置 等	0～1点	72.3%	3.4%	3.1%	1.3%	10.2%	90.3%
	2点	3.9%	0.3%	0.8%	0.3%	2.6%	7.9%
	3点	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	1.0%
	4点	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%
	5～10点	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%
	合計	76.7%	3.7%	3.9%	1.6%	14.1%	100.0%

A得点及びB得点について、7対1入院基本料算定病院の患者と10対1入院基本料算定病院の患者、亜急性期入院医療管理料1、2の患者を比較すると、亜急性期入院医療管理料1、2の患者のA得点平均値は7対1や10対1の退棟時のその約半分の0.35であるが、同時点におけるB得点平均値については大きな差異はなく、2前後の得点である。

なお、7対1入院基本料算定病院の患者と10対1入院基本料算定病院の患者の最高点時におけるA得点平均値はそれぞれ2.31、2.11であり、B得点平均値は5.00、4.49である。

図表 3-52 7対1、10対1、亜急性期（入院中）のA得点及びB得点の状況

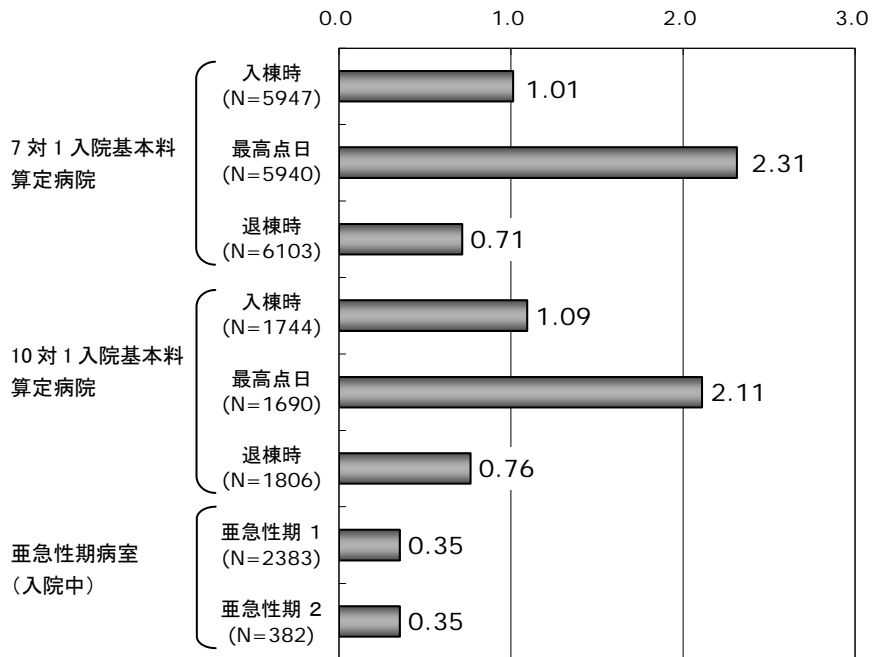
A得点	7対1入院基本料算定病院			10対1入院基本料算定病院			亜急性期入院 医学管理料1	亜急性期入院 医学管理料2
	入棟時	最高点日	退棟時	入棟時	最高点日	退棟時		
N数	5,947	5,940	6,103	1,744	1,690	1,806	2,383	382
平均値	1.01	2.31	0.71	1.09	2.11	0.76	0.35	0.35
標準偏差	1.845	2.427	1.634	1.836	2.337	1.669	0.789	0.752
最小値	0	0	0	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	10	10	8	5

B得点	7対1入院基本料算定病院			10対1入院基本料算定病院			亜急性期入院 医学管理料1	亜急性期入院 医学管理料2
	入棟時	最高点日	退棟時	入棟時	最高点日	退棟時		
N数	5,947	5,940	6,103	1,744	1,690	1,806	2,383	382
平均値	2.79	5.00	2.10	2.94	4.49	2.34	2.14	1.91
標準偏差	3.893	4.370	3.594	4.174	4.588	4.005	3.237	3.204
最小値	0	0	0	0	0	0	0	0
最大値	12	12	12	12	12	12	11	11

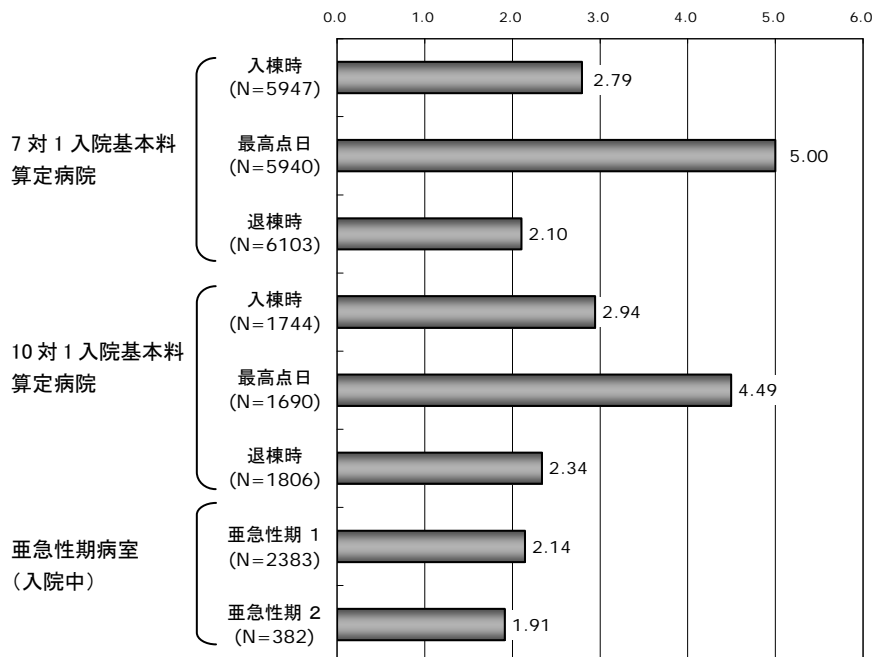
注) 亜急性期入院医学管理料の欄は、患者票（亜急性期病室用（入院中））の値である。

図表 3-53 7対1、10対1、亜急性期（入院中）のA得点平均値及びB得点平均値

○ A得点平均値



○ B得点平均値



A得点、B得点をそれぞれの項目別にみると、亜急性期入院医療管理料1ではA「呼吸ケア」・B「衣服の着脱」に5.46%、A「呼吸ケア」・B「移乗」に5.25%の患者が分布している。また、亜急性期入院医療管理料2では、A「呼吸ケア」・B「移乗」とA「専門的な治療・処置」・B「衣服の着脱」に4.71%の患者が分布している。

図表 3-54 退棟日「A. モニタリング及び処置等」、「B. 患者の状況等」の分布

〔亜急性期入院医療管理料1〕

(N=2,383)		B患者の状況等						
		寝返り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
A モ ニ タ リ ン グ 及 び 処 置 等	創傷処置	2.69%	2.69%	3.27%	4.24%	3.23%	3.11%	4.70%
	血圧測定	0.38%	0.38%	0.46%	0.80%	0.55%	0.42%	0.97%
	時間尿測定	0.50%	0.50%	0.55%	0.80%	0.46%	0.55%	0.71%
	呼吸ケア	4.53%	4.53%	4.74%	5.25%	4.83%	4.62%	5.46%
	点滴ライン同時3本以上	0.08%	0.08%	0.08%	0.13%	0.08%	0.08%	0.13%
	心電図モニター	0.63%	0.63%	0.80%	1.09%	0.80%	0.76%	1.05%
	シリンジポンプの使用	0.04%	0.04%	0.08%	0.13%	0.08%	0.04%	0.13%
	輸血や血液製剤の使用	0.08%	0.08%	0.08%	0.08%	0.04%	0.08%	0.08%
	専門的な治療・処置	1.38%	1.38%	1.80%	2.98%	1.80%	2.06%	3.44%

〔亜急性期入院医療管理料2〕

(N=382)		B. 患者の状況等						
		寝返り	起き上がり	座位保持	移乗	口腔清潔	食事摂取	衣服の着脱
A モ ニ タ リ ン グ 及 び 処 置 等	創傷処置	0.79%	0.79%	1.83%	2.36%	1.05%	1.31%	2.36%
	血圧測定	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	時間尿測定	1.31%	1.31%	1.57%	1.57%	1.05%	1.05%	1.57%
	呼吸ケア	3.66%	3.66%	3.93%	4.71%	3.93%	3.93%	4.19%
	点滴ライン同時3本以上	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	心電図モニター	1.31%	1.31%	1.57%	1.83%	1.57%	1.57%	1.83%
	シリンジポンプの使用	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	輸血や血液製剤の使用	0.52%	0.52%	0.52%	0.52%	0.52%	0.52%	0.52%
	専門的な治療・処置	2.62%	2.62%	2.88%	3.93%	3.40%	3.66%	4.71%

A得点及びB得点の項目別平均点数について、7対1入院基本料算定病院の患者と10対1入院基本料算定病院の患者、亜急性期入院医療管理料1、2の患者を比較すると、退棟時に得点が高いのは、A得点平均値では「専門的な治療・処置」であり、これはいずれの算定患者ともにほぼ同じ点数で0.16～0.18である。ただし、最高点時においては7対1入院基本料算定病院患者は0.58、10対1入院基本料算定病院患者は0.45と大きい。また、退棟時のB得点は「衣服の着脱」が高いが、これは亜急性期の患者がわずかに大きく、0.5を超えている。最高点時は、A得点同様に、7対1入院基本料算定病院患者は0.95、10対1入院基本料算定病院患者は0.87と大きい。

図表 3-55 7対1、10対1、亜急性期（入院中）のA得点及びB得点の項目別平均点数

	7対1入院基本料算定病院			10対1入院基本料算定病院			亜急性期入院 医学管理料1 (N=2,383)	亜急性期入院 医学管理料2 (N=382)	
	入棟時 (N=5,947)	最高点日 (N=5,940)	退棟時 (N=6,103)	入棟時 (N=1,744)	最高点日 (N=1,690)	退棟時 (N=1,806)			
A モ ニ タ リ ン グ 及 び 処 置 等	創傷処置	0.09	0.23	0.11	0.10	0.23	0.10	0.08	0.10
	血圧測定	0.16	0.39	0.09	0.24	0.42	0.16	0.02	0.00
	時間尿測定	0.05	0.12	0.03	0.06	0.13	0.04	0.01	0.02
	呼吸ケア	0.17	0.35	0.11	0.17	0.30	0.11	0.00	0.00
	点滴ライン同時3本以上	0.06	0.12	0.03	0.06	0.11	0.04	0.01	0.02
	心電図モニター	0.19	0.35	0.11	0.16	0.30	0.09	0.00	0.00
	シリンジポンプの使用	0.06	0.10	0.03	0.06	0.11	0.04	0.00	0.01
	輸血や血液製剤の使用	0.03	0.07	0.02	0.03	0.06	0.02	0.06	0.05
	専門的な治療・処置	0.22	0.58	0.18	0.21	0.45	0.16	0.16	0.16

	7対1入院基本料算定病院			10対1入院基本料算定病院			亜急性期入院 医学管理料1 (N=2,383)	亜急性期入院 医学管理料2 (N=382)	
	入棟時 (N=5,947)	最高点日 (N=5,940)	退棟時 (N=6,103)	入棟時 (N=1,744)	最高点日 (N=1,690)	退棟時 (N=1,806)			
B 患 者 の 状 況 等	寝返り	0.41	0.79	0.32	0.43	0.71	0.35	0.16	0.15
	起き上がり	0.25	0.47	0.18	0.26	0.43	0.20	0.16	0.15
	座位保持	0.42	0.83	0.27	0.43	0.71	0.33	0.27	0.24
	移乗	0.60	1.04	0.41	0.59	0.88	0.44	0.50	0.46
	口腔清潔	0.29	0.49	0.23	0.29	0.43	0.23	0.21	0.18
	食事摂取	0.25	0.43	0.25	0.34	0.46	0.30	0.29	0.24
	衣服の着脱	0.58	0.95	0.45	0.61	0.87	0.48	0.56	0.50

注) 亜急性期入院医療管理料の欄は、患者票（亜急性期病室用（入院中））の値である。

⑧ 亜急性期病室（退室）の患者状況

亜急性期病室を退室した患者は、亜急性期入院医療管理料1では主傷病の「骨折」が30.7%、「関節症」9.6%、「脳梗塞」7.6%を占め、管理料2では「骨折」が27.3%、「関節症」9.8%、「その他の筋骨格系及び結合組織の疾患」7.4%を占めている。

発症から入院までの期間は、亜急性期入院医療管理料2の患者の「1ヵ月未満」の割合が、管理料1の患者に比較して1～2割程大きい。

図表 3-56 主傷病

[亜急性期入院医療管理料1] (N=2,355)

順位	傷病名	割合(全体)
1	骨 折	30.7%
2	関節症	9.6%
3	脳梗塞	7.6%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	5.1%
5	肺 炎	4.3%
6	脊椎障害(脊椎症を含む)	3.7%
7	その他の損傷及びその他の外因の影響	3.3%
8	その他の消化器系の疾患	2.1%
9	脳内出血	2.0%
10	糖尿病	1.7%

(参考) 主な傷病別にみた発症から入院までの期間

順位	傷病名	発症から入室までの期間					
		1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6~9ヶ月未満	9~12ヶ月未満
1	骨 折(N=722)	62.3%	23.7%	4.6%	1.7%	0.4%	0.3%
2	関節症(N=226)	14.6%	19.0%	12.4%	8.0%	1.3%	3.5%
3	脳梗塞(N=180)	46.7%	25.6%	4.4%	8.3%	2.2%	0.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=119)	46.2%	22.7%	6.7%	3.4%	1.7%	0.0%
5	肺 炎(N=101)	45.5%	33.7%	5.9%	3.0%	0.0%	0.0%

順位	傷病名	発症から入室までの期間					合計
		12~18ヶ月未満	18~24ヶ月未満	24~36ヶ月未満	36ヶ月以上	不明	
1	骨 折(N=722)	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	6.6%	100.0%
2	関節症(N=226)	4.4%	1.8%	2.7%	6.2%	26.1%	100.0%
3	脳梗塞(N=180)	0.6%	0.6%	0.6%	2.2%	8.9%	100.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=119)	0.8%	0.0%	0.8%	2.5%	15.1%	100.0%
5	肺 炎(N=101)	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料2] (N=528)

順位	傷病名	割合(全体)
1	骨 折	27.3%
2	関節症	9.8%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	7.4%
4	その他の損傷及びその他の外因の影響	6.3%
5	脳梗塞	6.1%
6	その他の消化器系の疾患	3.8%
7	肺 炎	3.4%
8	脳内出血	3.0%
9	脊椎障害(脊椎症を含む)	3.0%
10	その他の脊柱障害	2.7%

(参考) 主な傷病別にみた発症から入院までの期間

順位	傷病名	発症から入室までの期間					
		1ヶ月未満	1~2ヶ月未満	2~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6~9ヶ月未満	9~12ヶ月未満
1	骨 折(N=144)	81.3%	8.3%	3.5%	2.8%	0.7%	0.0%
2	関節症(N=52)	23.1%	9.6%	5.8%	7.7%	9.6%	0.0%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=39)	64.1%	12.8%	10.3%	10.3%	0.0%	0.0%
4	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=33)	48.5%	15.2%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%
5	脳梗塞(N=32)	68.8%	18.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%

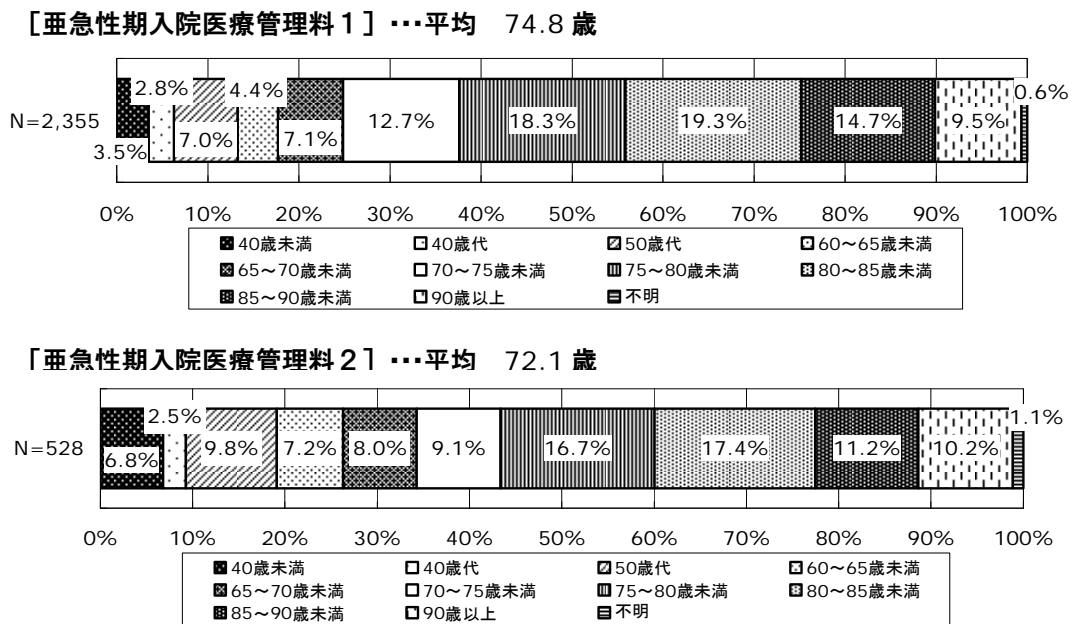
順位	傷病名	発症から入室までの期間					合計
		12~18ヶ月未満	18~24ヶ月未満	24~36ヶ月未満	36ヶ月以上	不明	
1	骨 折(N=144)	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	2.8%	100.0%
2	関節症(N=52)	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	100.0%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=39)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	100.0%
4	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=33)	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	15.2%	100.0%
5	脳梗塞(N=32)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	100.0%

⑨ 亜急性期病室（退室）患者の年齢

亜急性期入院医療管理料1の患者は、「70歳以上」が7割を超えており、平均が74.8歳である。亜急性期入院医療管理料2では患者の平均年齢が72.1歳であり、若干低い。

なお、管理料1、管理等2ともに「80～85歳未満」の患者が多く、それぞれ19.3%、17.4%を占めている。

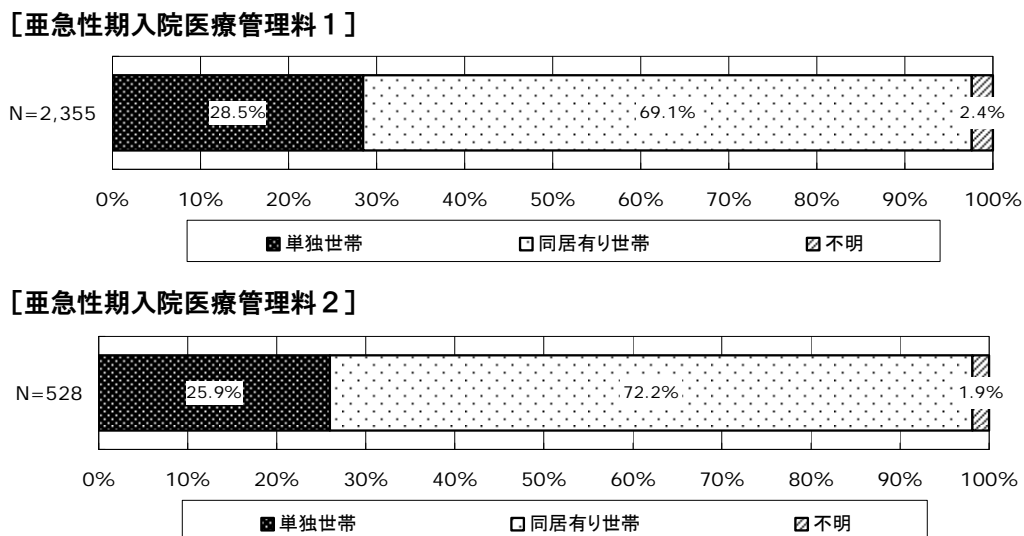
図表 3-57 年齢



⑩ 世帯構成

亜急性期入院医療管理料1、2のいずれも「同居有り世帯」の患者が7割程を占める。

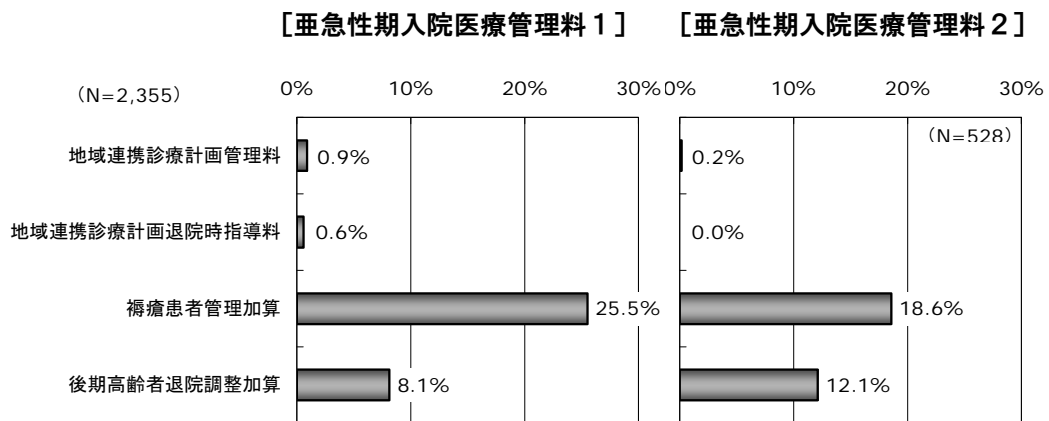
図表 3-58 世帯構成



⑪ 各種管理料や加算の算定状況

各種管理料や加算の算定状況は、亜急性期入院医療管理料 1、2 のいずれも「褥瘡患者管理加算」患者が多く、次いで「後期高齢者退院調整加算」が多い。

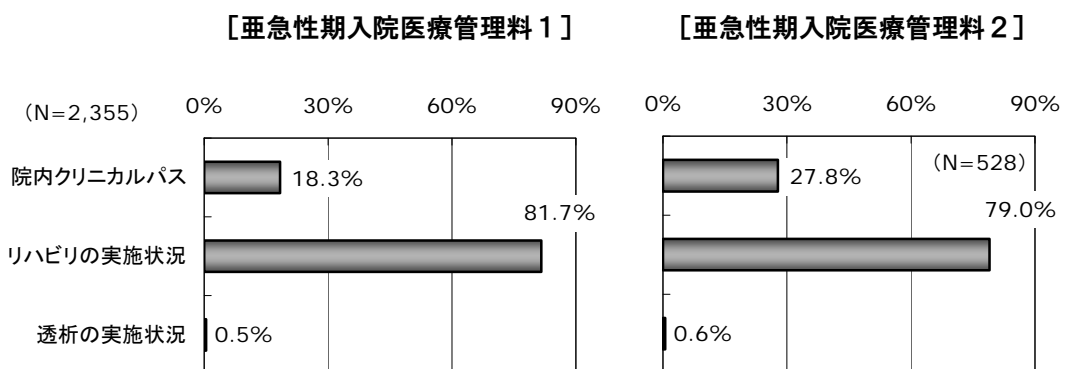
図表 3-59 算定状況



⑫ 院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況

亜急性期入院医療管理料 1 の患者は、院内クリニカルパスの実施状況が 18.3%、リハビリの実施状況は 81.7%である。透析の実施状況は 0.5%と小さい。亜急性期入院医療管理料 2 の患者は、リハビリ及び透析の実施状況はほぼ同様であるが、院内クリニカルパスの実施状況が 27.8%と大きい。

図表 3-60 院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況



・リハビリ種類 → 運動器 : 76.5%
 脳血管疾患等 : 23.6%

運動器 : 72.4%
 脳血管疾患等 : 26.8%

主傷病別院内クリニカルパスの実施状況は、亜急性期入院医療管理料1の患者の「関節症」は5割を超えるが、他の傷病では実施割合は低く、「骨折」で2割を超える程度である。亜急性期入院医療管理料2の患者では、「関節症」が7割に近く、「その他の損傷及びその他の外因の影響」や「脳梗塞」が5割前後の実施率であるが、n数が小さいことに留意する必要がある。

図表 3-61 主な傷病別にみた院内クリニカルパスの実施状況

〔亜急性期入院医療管理料1〕

順位	傷病名	院内クリニカルパス		合計
		有	無	
1	骨折(N=703)	21.9%	78.1%	100.0%
2	関節症(N=221)	57.5%	42.5%	100.0%
3	脳梗塞(N=175)	5.7%	94.3%	100.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=113)	14.2%	85.8%	100.0%
5	肺炎(N=98)	7.1%	92.9%	100.0%

〔亜急性期入院医療管理料2〕

順位	傷病名	院内クリニカルパス		合計
		有	無	
1	骨折(N=140)	22.1%	77.9%	100.0%
2	関節症(N=51)	68.6%	31.4%	100.0%
3	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=32)	46.9%	53.1%	100.0%
4	脳梗塞(N=32)	53.1%	46.9%	100.0%
5	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=29)	13.8%	86.2%	100.0%

主傷病別のリハビリの実施状況は、「肺炎」を除き、ほぼ9割を超えている。

また、リハビリの頻度は、亜急性期入院医療管理料1の患者では「5単位以下」が最も多く35.6%を占めるが、管理料2の患者では「11～15単位」が29.0%と最も多い。

図表 3-62 主な傷病別にみたリハビリの実施状況

〔亜急性期入院医療管理料1〕

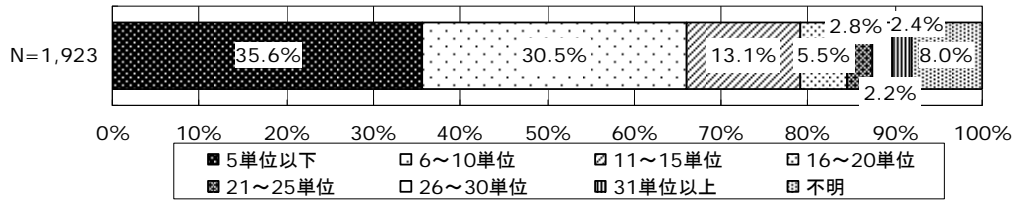
順位	傷病名	リハビリの実施状況		合計
		有	無	
1	骨折(N=699)	96.9%	3.1%	100.0%
2	関節症(N=218)	98.6%	1.4%	100.0%
3	脳梗塞(N=176)	92.6%	7.4%	100.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=112)	92.0%	8.0%	100.0%
5	肺炎(N=98)	48.0%	52.0%	100.0%

〔亜急性期入院医療管理料2〕

順位	傷病名	リハビリの実施状況		合計
		有	無	
1	骨折(N=143)	94.4%	5.6%	100.0%
2	関節症(N=51)	98.0%	2.0%	100.0%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=38)	87.1%	12.9%	100.0%
4	脳梗塞(N=32)	100.0%	0.0%	100.0%
5	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=31)	97.4%	2.6%	100.0%

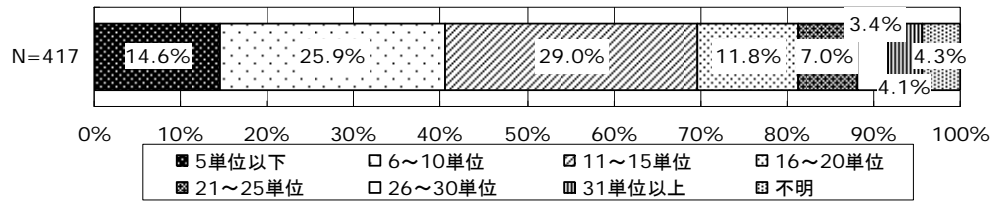
図表 3-63 リハビリ提供（週当たり）単位数

[亜急性期入院医療管理料1]



・・・ 平均 9.85 単位

[亜急性期入院医療管理料2]



・・・ 平均 13.38 単位

亜急性期入院医療管理料1の患者について、院内クリニカルパスやリハビリ、透析の実施状況を、患者の主傷病大分類別に比較すると、院内クリニカルパスの実施は「筋骨格系および結合組織の疾患」や「眼及び付属器の疾患」で33%程と多いが、「眼及び付属器の疾患」はn数が小さいことに留意する必要がある。リハビリについては、「眼及び付属器の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「消化器系の疾患」などが少ないが、他の疾患では比較的多く実施されている。透析は「腎尿路生殖系の疾患」で比較的多く実施されている。

図表 3-64 傷病大分類別にみた院内クリニカルパス、リハビリ、透析の実施状況

【亜急性期入院医療管理料1】

	院内クリニカルパスの使用実施状況		リハビリの実施状況		透析の実施状況	
	割合	N数	割合	N数	割合	N数
感染症及び寄生虫症	0.0%	16	81.3%	16	0.0%	16
新生物	14.3%	49	58.0%	50	0.0%	47
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.0%	10	60.0%	10	0.0%	10
内分泌、栄養及び代謝疾患	5.5%	55	42.9%	56	0.0%	56
精神及び行動の障害	0.0%	16	43.8%	16	0.0%	16
神経系の疾患	5.9%	51	80.8%	52	0.0%	51
眼及び付属器の疾患	33.3%	3	33.3%	3	0.0%	3
耳及び乳様突起の疾患	0.0%	6	50.0%	6	0.0%	6
循環器系の疾患	6.6%	362	82.1%	357	0.3%	362
呼吸器系の疾患	7.5%	146	51.0%	145	0.7%	149
消化器系の疾患	5.4%	93	43.8%	96	1.1%	94
皮膚及び皮下組織の疾患	8.0%	25	52.0%	25	0.0%	25
筋骨格系及び結合組織の疾患	33.7%	597	94.6%	591	0.3%	588
腎尿路生殖系の疾患	3.0%	33	62.5%	32	6.7%	30
症状、徴候等で他に分類されないもの	0.0%	14	53.3%	15	0.0%	15
損傷、中毒及びその他の外因の影響	21.1%	791	95.9%	786	0.5%	798
不明	21.2%	33	89.7%	39	0.0%	35
合計	18.8%	2,300	83.8%	2,295	0.5%	2,301

【亜急性期入院医療管理料2】

	院内クリニカルパスの使用実施状況		リハビリの実施状況		透析の実施状況	
	割合	N数	割合	N数	割合	N数
感染症及び寄生虫症	0.0%	2	100.0%	2	0.0%	2
新生物	0.0%	6	80.0%	5	0.0%	6
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
内分泌、栄養及び代謝疾患	0.0%	5	60.0%	5	0.0%	5
精神及び行動の障害	0.0%	5	100.0%	5	0.0%	5
神経系の疾患	33.3%	9	80.0%	10	0.0%	9
眼及び付属器の疾患	0.0%	3	0.0%	3	0.0%	3
耳及び乳様突起の疾患	0.0%	1	—	—	0.0%	1
循環器系の疾患	41.9%	74	81.1%	74	0.0%	72
呼吸器系の疾患	8.3%	24	43.5%	23	0.0%	24
消化器系の疾患	6.5%	31	29.6%	27	3.2%	31
皮膚及び皮下組織の疾患	0.0%	5	40.0%	5	20.0%	5
筋骨格系及び結合組織の疾患	45.6%	136	94.5%	145	0.7%	143
腎尿路生殖系の疾患	0.0%	8	44.4%	9	0.0%	9
症状、徴候等で他に分類されないもの	0.0%	4	75.0%	4	0.0%	4
損傷、中毒及びその他の外因の影響	26.1%	176	92.1%	177	0.0%	176
不明	12.5%	8	100.0%	8	0.0%	8
合計	29.6%	497	83.1%	502	0.6%	503

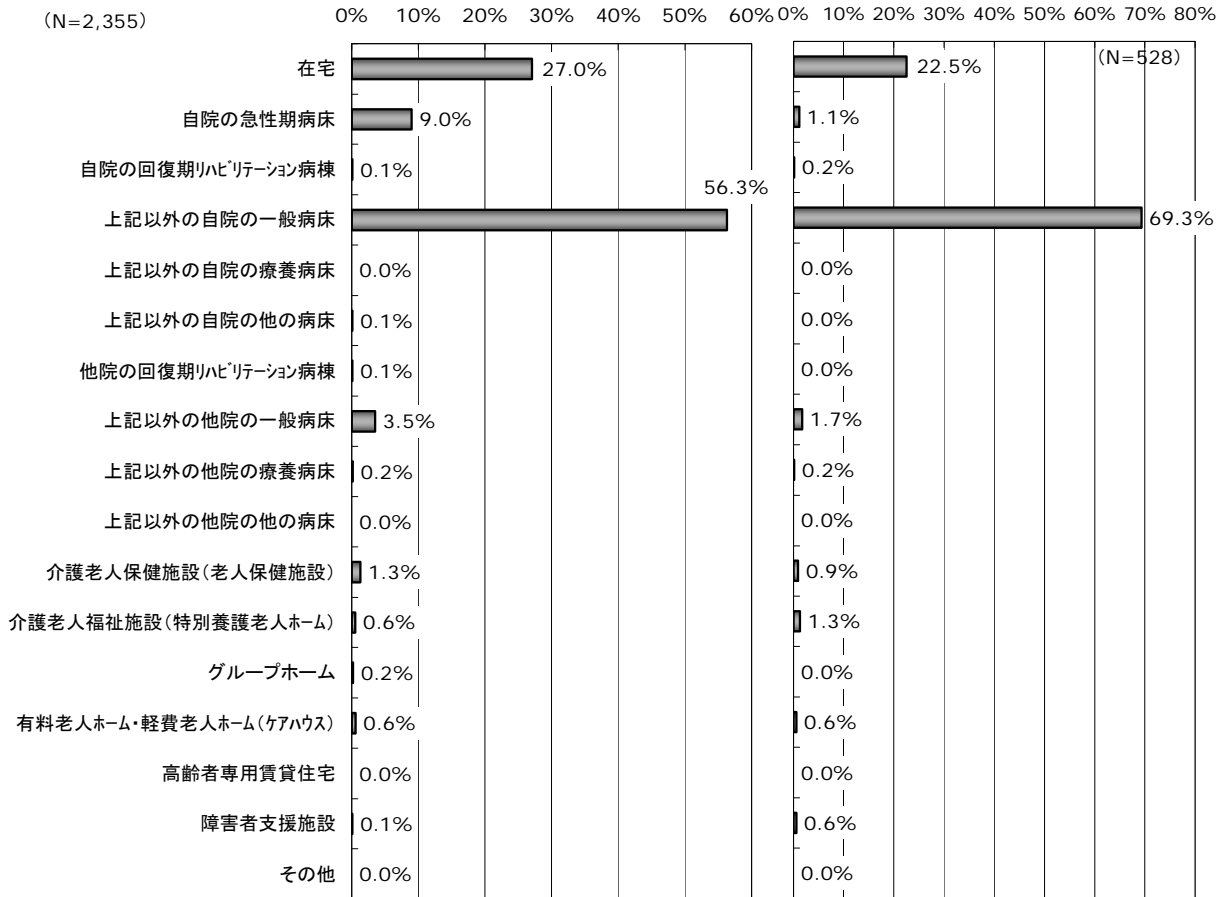
⑬ 亜急性期病室の退室患者の入室時の状況

亜急性期入院医療管理料 1、2 の患者の入室前の居場所は、6 割程が「自院の急性期病床・回復期リハビリテーション病棟以外の一般病床」であり、その他は 2 割程が「在宅」である。この傾向は、患者の主傷病を大分類別にみた場合もほぼ同様であるが、傷病によっては n 数が小さいことに留意する必要がある。

図表 3-65 入室前の居場所

【亜急性期入院医療管理料 1】

【亜急性期入院医療管理料 2】



図表 3-66 傷病大分類にみた入室前の居場所

〔亜急性期入院医療管理料 1〕

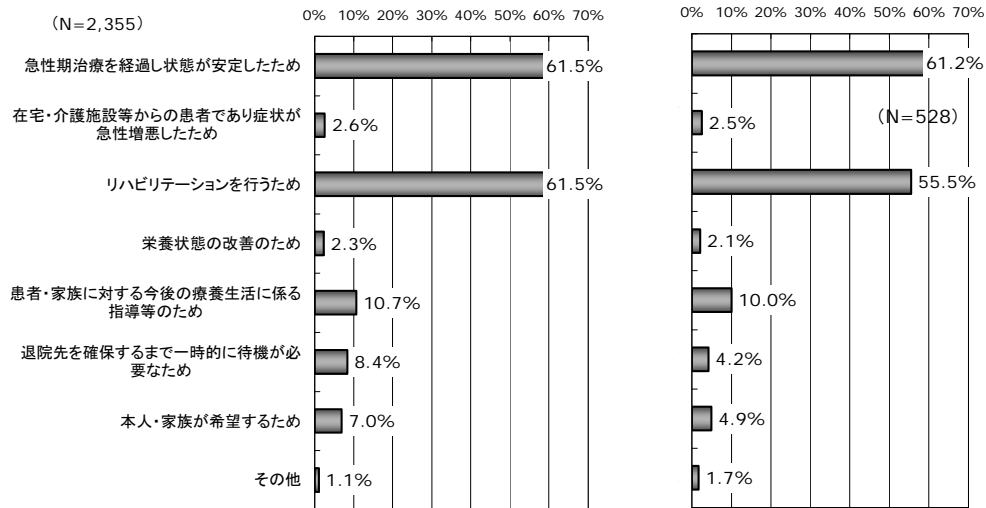
		入室前の居場所							合計
		在宅	自院の急性期病床	自院の回復期リハ病床	自院の他の病床	他院の回復期リハ病床	他院の他の病床	介護施設等	
傷病大分類	感染症及び寄生虫症 (N=16)	12.5%	6.3%	0.0%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	新生物 (N=50)	18.0%	2.0%	0.0%	62.0%	0.0%	10.0%	8.0%	100.0%
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (N=10)	30.0%	10.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%
	内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=56)	16.1%	8.9%	0.0%	64.3%	0.0%	5.4%	5.4%	100.0%
	精神及び行動の障害 (N=16)	18.8%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%
	神経系の疾患 (N=52)	44.2%	5.8%	0.0%	36.5%	1.9%	9.6%	1.9%	100.0%
	眼及び付属器の疾患 (N=2)	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	耳及び乳様突起の疾患 (N=6)	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	100.0%
	循環器系の疾患 (N=367)	22.9%	11.7%	0.0%	55.0%	0.5%	4.9%	4.9%	100.0%
	呼吸器系の疾患 (N=148)	22.3%	8.1%	0.0%	55.4%	0.0%	5.4%	8.8%	100.0%
	消化器系の疾患 (N=96)	25.0%	5.2%	0.0%	58.3%	0.0%	7.3%	4.2%	100.0%
	皮膚及び皮下組織の疾患 (N=25)	24.0%	12.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	4.0%	100.0%
	筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=606)	35.8%	9.9%	0.2%	52.0%	0.0%	1.3%	0.8%	100.0%
	腎尿路生殖系の疾患 (N=33)	18.2%	6.1%	0.0%	57.6%	0.0%	18.2%	0.0%	100.0%
	症状、徴候等で他に分類されないもの (N=15)	13.3%	13.3%	0.0%	53.3%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=805)	24.7%	8.8%	0.2%	61.4%	0.0%	3.4%	1.5%	100.0%	

〔亜急性期入院医療管理料 2〕

		入室前の居場所							合計
		在宅	自院の急性期病床	自院の回復期リハ病床	自院の他の病床	他院の回復期リハ病床	他院の他の病床	介護施設等	
傷病大分類	感染症及び寄生虫症 (N=2)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	新生物 (N=6)	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (N=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=7)	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	精神及び行動の障害 (N=5)	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	神経系の疾患 (N=10)	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	眼及び付属器の疾患 (N=3)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	耳及び乳様突起の疾患 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	循環器系の疾患 (N=75)	20.0%	2.7%	0.0%	73.3%	0.0%	1.3%	2.7%	100.0%
	呼吸器系の疾患 (N=26)	11.5%	0.0%	0.0%	65.4%	0.0%	0.0%	23.1%	100.0%
	消化器系の疾患 (N=32)	28.1%	3.1%	3.1%	59.4%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%
	皮膚及び皮下組織の疾患 (N=5)	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=148)	17.6%	1.4%	0.0%	76.4%	0.0%	2.0%	2.7%	100.0%
	腎尿路生殖系の疾患 (N=9)	44.4%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
	症状、徴候等で他に分類されないもの (N=4)	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=178)	28.1%	0.6%	0.0%	67.4%	0.0%	2.8%	1.1%	100.0%	

亜急性期入院医療管理料 1、2 の患者の入室した背景は、6 割程が「急性期治療を経過し状態が安定したため」「リハビリテーションを行うため」であり、その他には「患者・家族に対する今後の療養生活に係る指導等のため」が 1 割程である。

図表 3-67 入室した背景
 [亜急性期入院医療管理料 1] [亜急性期入院医療管理料 2]



図表 3-68 傷病大分類にみた入室した背景

[亜急性期入院医療管理料 1]

傷病大分類	入室した背景							
	急性期治療を経過し状態が安定したため	在宅・介護施設等からの患者であり症状が急性増悪したため	リハビリテーションを行うため	栄養状態の改善のため	患者・家族に対する今後の療養生活に係る指導等のため	退院先を確保するまで一時的に待機が必要のため	本人・家族が希望するため	その他
感染症及び寄生虫症 (N=16)	75.0%	6.3%	43.8%	6.3%	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%
新生物 (N=50)	62.0%	0.0%	38.0%	4.0%	16.0%	10.0%	10.0%	2.0%
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (N=10)	80.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=56)	66.1%	3.6%	26.8%	3.6%	35.7%	3.6%	5.4%	5.4%
精神及び行動の障害 (N=16)	31.3%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	31.3%	6.3%
神経系の疾患 (N=52)	28.8%	5.8%	57.7%	5.8%	30.8%	19.2%	15.4%	0.0%
眼及び付属器の疾患 (N=2)	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
耳及び乳様突起の疾患 (N=6)	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
循環器系の疾患 (N=364)	61.0%	4.4%	56.9%	2.5%	9.6%	14.0%	11.0%	1.1%
呼吸器系の疾患 (N=148)	80.4%	9.5%	23.6%	8.1%	8.1%	14.9%	4.1%	0.7%
消化器系の疾患 (N=95)	70.5%	3.2%	20.0%	6.3%	10.5%	15.8%	6.3%	2.1%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=25)	72.0%	4.0%	28.0%	16.0%	16.0%	12.0%	4.0%	4.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=604)	59.1%	1.8%	79.0%	0.7%	8.9%	4.1%	6.0%	0.7%
腎尿路生殖系の疾患 (N=33)	63.6%	0.0%	27.3%	3.0%	21.2%	12.1%	12.1%	6.1%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=15)	60.0%	13.3%	26.7%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	6.7%
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=800)	63.0%	0.9%	73.3%	0.9%	9.4%	6.4%	5.3%	0.5%

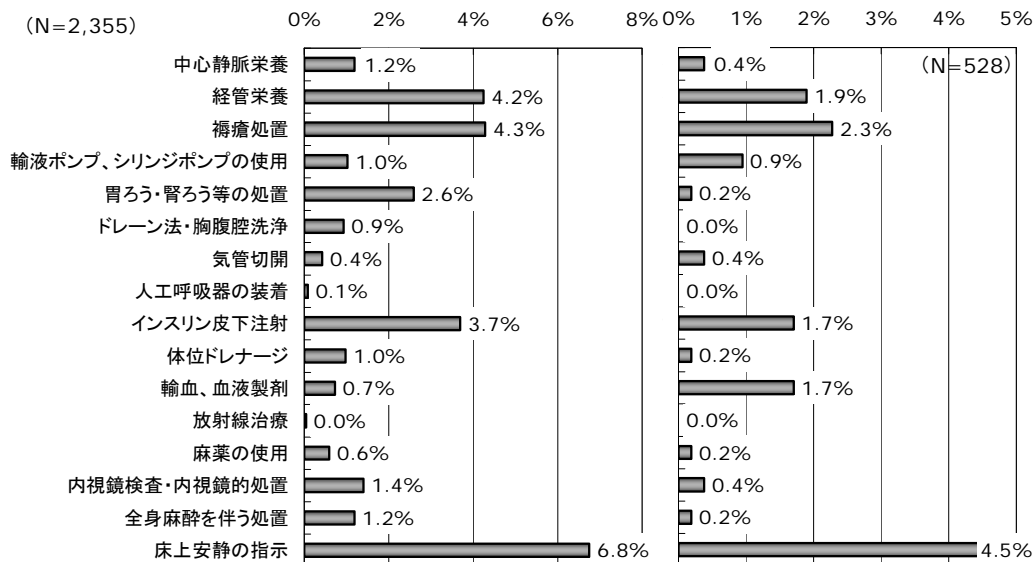
[亜急性期入院医療管理料 2]

傷病大分類	入室した背景							
	急性期治療を経過し状態が安定したため	在宅・介護施設等からの患者であり症状が急性増悪したため	リハビリテーションを行うため	栄養状態の改善のため	患者・家族に対する今後の療養生活に係る指導等のため	退院先を確保するまで一時的に待機が必要のため	本人・家族が希望するため	その他
感染症及び寄生虫症 (N=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新生物 (N=6)	50.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (N=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=7)	57.1%	0.0%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%
精神及び行動の障害 (N=5)	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
神経系の疾患 (N=9)	77.8%	0.0%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
眼及び付属器の疾患 (N=3)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
耳及び乳様突起の疾患 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
循環器系の疾患 (N=74)	71.6%	2.7%	52.7%	0.0%	17.6%	6.8%	2.7%	0.0%
呼吸器系の疾患 (N=26)	57.7%	15.4%	15.4%	11.5%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%
消化器系の疾患 (N=31)	67.7%	3.2%	22.6%	6.5%	6.5%	9.7%	3.2%	12.9%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=5)	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=147)	42.9%	2.0%	71.4%	0.0%	4.1%	2.0%	6.1%	0.7%
腎尿路生殖系の疾患 (N=9)	66.7%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=4)	75.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=178)	75.3%	0.6%	65.2%	0.6%	9.6%	4.5%	5.1%	0.0%

亜急性期入院医療管理料1、2の患者の入室中の状況は、「床上安静の指示」が最も多く、次いで「褥瘡処置」「経管栄養」「インスリン皮下注射」などが多い。いずれも亜急性期入院医療管理料1の患者の割合が若干2%程大きい。

図表 3-69 入室中の患者の状況

〔亜急性期入院医療管理料1〕 〔亜急性期入院医療管理料2〕



入室した背景が「急性期治療を経過し状態が安定したため」である患者の、入室中の患者状況をみると、「床上安静の指示」が最も多く、次いで「褥瘡処置」「経管栄養」「インスリン皮下注射」などが多い。また、入室した背景が「リハビリテーションを行うため」である患者も、入室中の状況では「床上安静の指示」「褥瘡処置」「インスリン皮下注射」などが多い。

図表 3-70 入室した背景別にみる入室中の患者状況

〔入室背景：急性期治療を経過し状態が安定したため〕

〔入室背景：リハビリテーションを行うため〕

患者の状況等	〔急性期治療を経過し状態が安定したため〕		〔リハビリテーションを行うため〕	
	亜急性期入院医療管理料1 (N=1,448)	亜急性期入院医療管理料2 (N=323)	亜急性期入院医療管理料1 (N=1,448)	亜急性期入院医療管理料2 (N=293)
中心静脈栄養	0.90%	0.00%	0.48%	0.68%
経管栄養	4.14%	1.55%	2.28%	0.34%
褥瘡処置	4.21%	1.24%	3.45%	2.39%
輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	0.97%	0.31%	0.35%	0.34%
胃ろう・腎ろう等の処置	2.69%	0.00%	1.52%	0.00%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	1.10%	0.00%	0.83%	0.00%
気管切開	0.41%	0.31%	0.28%	0.00%
人工呼吸器の装着	0.07%	0.00%	0.00%	0.00%
インスリン皮下注射	3.59%	1.86%	2.90%	1.37%
体位ドレナージ	1.38%	0.31%	0.90%	0.00%
輸血、血液製剤	0.76%	0.62%	0.69%	0.34%
放射線治療	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
麻薬の使用	0.76%	0.00%	0.48%	0.00%
内視鏡検査・内視鏡的処置	1.38%	0.00%	0.28%	0.34%
全身麻酔を伴う処置	1.17%	0.31%	1.52%	0.34%
床上安静の指示	7.18%	4.33%	5.66%	1.02%

図表 3-71 傷病大分類別にみた入室中の患者状況

[亜急性期入院医療管理料1]

		傷病大分類								
		感染症及び寄生虫症	新生物	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	内分泌、栄養及び代謝疾患	精神及び行動の障害	神経系の疾患	眼及び付属器の疾患	耳及び乳様突起の疾患	循環器系の疾患
入室中の患者の状況等	中心静脈栄養	6.7%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	1.2%
	経管栄養	0.0%	0.0%	20.0%	3.8%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	13.0%
	褥瘡処置	6.7%	8.2%	10.0%	5.8%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	7.2%
	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.3%
	胃ろう、腎ろう等の処置	0.0%	2.0%	0.0%	3.8%	0.0%	13.7%	0.0%	0.0%	5.8%
	ドレーン法、胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
	気管切開	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.2%
	人工呼吸器の装着	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インスリン皮下注射	0.0%	4.1%	0.0%	50.0%	0.0%	2.0%	0.0%	16.7%	3.5%
	体位ドレナージ	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.9%
	輸血、血液製剤	0.0%	2.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	麻薬の使用	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	6.7%	3.9%	0.0%	0.0%	0.3%
	内視鏡検査・内視鏡的処置	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
	全身麻酔を伴う処置	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	床上安静の指示	0.0%	8.2%	0.0%	1.9%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	4.9%
傷病大分類別合計	100.0% (N=15)	100.0% (N=49)	100.0% (N=10)	100.0% (N=52)	100.0% (N=15)	100.0% (N=51)	100.0% (N=2)	100.0% (N=6)	100.0% (N=345)	

		傷病大分類								
		呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	泌尿路生殖系の疾患	症状、徴候等で他に分類されないもの	損傷、中毒及びその他の外因の影響	不明	合計
入室中の患者の状況等	中心静脈栄養	2.9%	7.9%	4.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	1.3%
	経管栄養	16.7%	9.0%	16.0%	0.4%	6.1%	0.0%	0.4%	0.0%	4.6%
	褥瘡処置	5.1%	6.7%	32.0%	2.0%	12.1%	13.3%	3.3%	3.2%	4.6%
	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	8.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
	胃ろう、腎ろう等の処置	12.3%	5.6%	8.0%	0.4%	6.1%	0.0%	0.4%	0.0%	2.8%
	ドレーン法、胸腹腔洗浄	1.4%	4.5%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	1.0%
	気管切開	1.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
	人工呼吸器の装着	0.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	インスリン皮下注射	4.3%	0.0%	0.0%	2.0%	9.1%	6.7%	3.1%	3.2%	4.0%
	体位ドレナージ	3.6%	3.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.1%
	輸血、血液製剤	1.4%	2.2%	0.0%	0.2%	3.0%	0.0%	0.4%	3.2%	0.8%
	放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	麻薬の使用	1.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.6%
	内視鏡検査・内視鏡的処置	3.6%	11.2%	0.0%	0.4%	3.0%	0.0%	0.5%	0.0%	1.5%
	全身麻酔を伴う処置	0.7%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	1.3%
	床上安静の指示	9.4%	9.0%	4.0%	6.9%	3.0%	20.0%	9.4%	0.0%	7.3%
傷病大分類別合計	100.0% (N=138)	100.0% (N=89)	100.0% (N=25)	100.0% (N=562)	100.0% (N=33)	100.0% (N=15)	100.0% (N=753)	100.0% (N=31)	100.0% (N=2,187)	

[亜急性期入院医療管理料2]

		傷病大分類								
		感染症及び 寄生虫症	新生物	血液及び造血器 の疾患並びに 免疫機構の障害	内分泌、栄養 及び代謝疾患	精神及び行動の 障害	神経系の疾患	眼及び付属器の 疾患	耳及び乳様突起 の疾患	循環器系の疾患
入室中の患者の状況等	中心静脈栄養	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	経管栄養	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
	褥瘡処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
	胃ろう、腎ろう等の処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ドレーン法、胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	気管切開	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	人工呼吸器の装着	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インスリン皮下注射	50.0%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
	体位ドレナージ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	輸血、血液製剤	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
	放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	麻薬の使用	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	内視鏡検査・内視鏡的処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	全身麻酔を伴う処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	床上安静の指示	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%
傷病大分類合計	100.0% (N=2)	100.0% (N=6)	100.0% (N=0)	100.0% (N=7)	100.0% (N=5)	100.0% (N=8)	100.0% (N=3)	100.0% (N=1)	100.0% (N=74)	

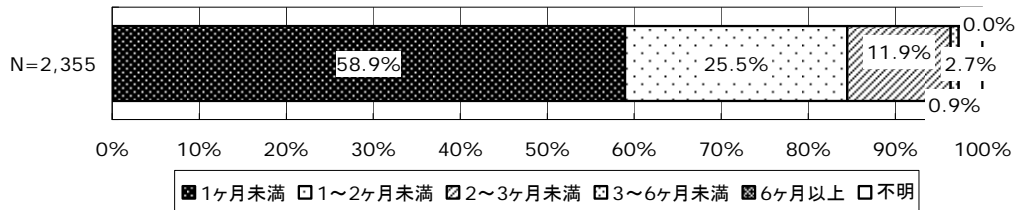
		傷病大分類								
		呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	皮膚及び 皮下組織の疾患	筋骨格系及び 結合組織の疾患	腎尿路生殖系の 疾患	症状、徴候等で 他に分類 されないもの	損傷、中毒及び その他の 外因の影響	不明	合計
入室中の患者の状況等	中心静脈栄養	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.4%
	経管栄養	21.7%	0.0%	0.0%	0.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
	褥瘡処置	4.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	2.6%
	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用	8.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
	胃ろう、腎ろう等の処置	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	ドレーン法、胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	気管切開	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
	人工呼吸器の装着	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	インスリン皮下注射	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
	体位ドレナージ	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	輸血、血液製剤	17.4%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
	放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	麻薬の使用	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	内視鏡検査・内視鏡的処置	4.3%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
	全身麻酔を伴う処置	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	床上安静の指示	17.4%	3.6%	20.0%	4.4%	50.0%	25.0%	3.2%	0.0%	5.1%
傷病大分類合計	100.0% (N=23)	100.0% (N=28)	100.0% (N=5)	100.0% (N=135)	100.0% (N=6)	100.0% (N=4)	100.0% (N=156)	100.0% (N=9)	100.0% (N=470)	

⑭ 亜急性期病室の退室患者の退室時の状況

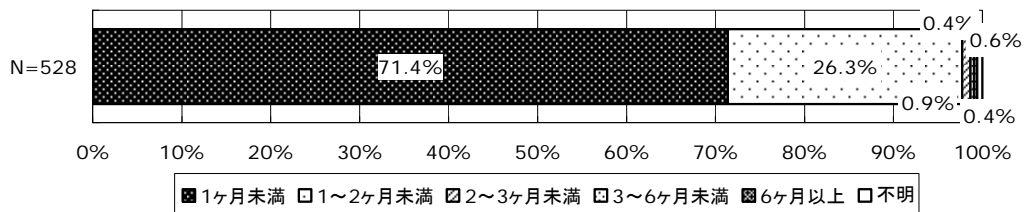
亜急性期入院医療管理料1の患者の入室から退室までの期間は、「1ヶ月未満」が58.9%、管理料2の患者では71.4%である。入室から退室までの平均期間は、管理料1の患者が30.3日、管理料2では24.5日である。

図表 3-72 入室から退室までの期間

〔亜急性期入院医療管理料1〕 …平均 30.3日

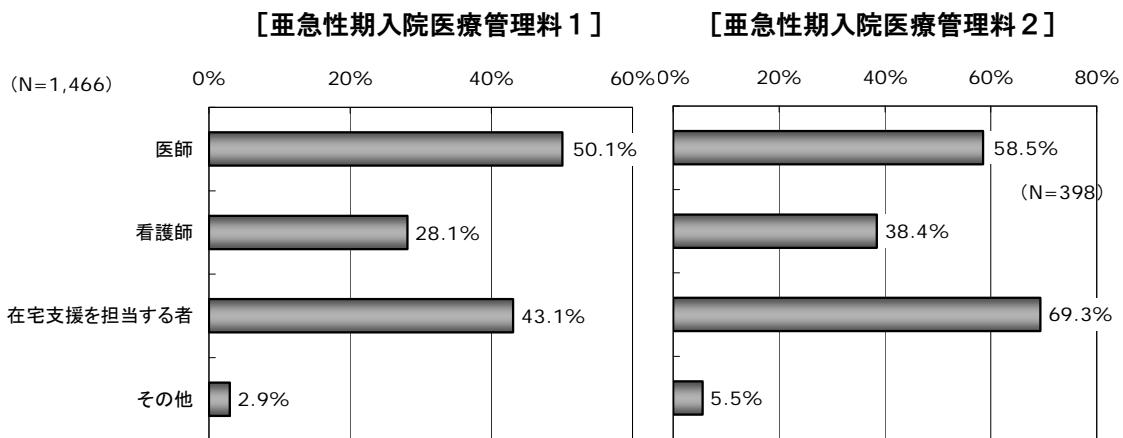


〔亜急性期入院医療管理料2〕 …平均 24.5日



退院支援計画書の作成者は、亜急性期入院医療管理料1の患者では「医師」が50.1%と最も多く、管理料2では「在宅支援を実施する者」が69.3%と最も多い。

図表 3-73 退院支援計画書の作成者

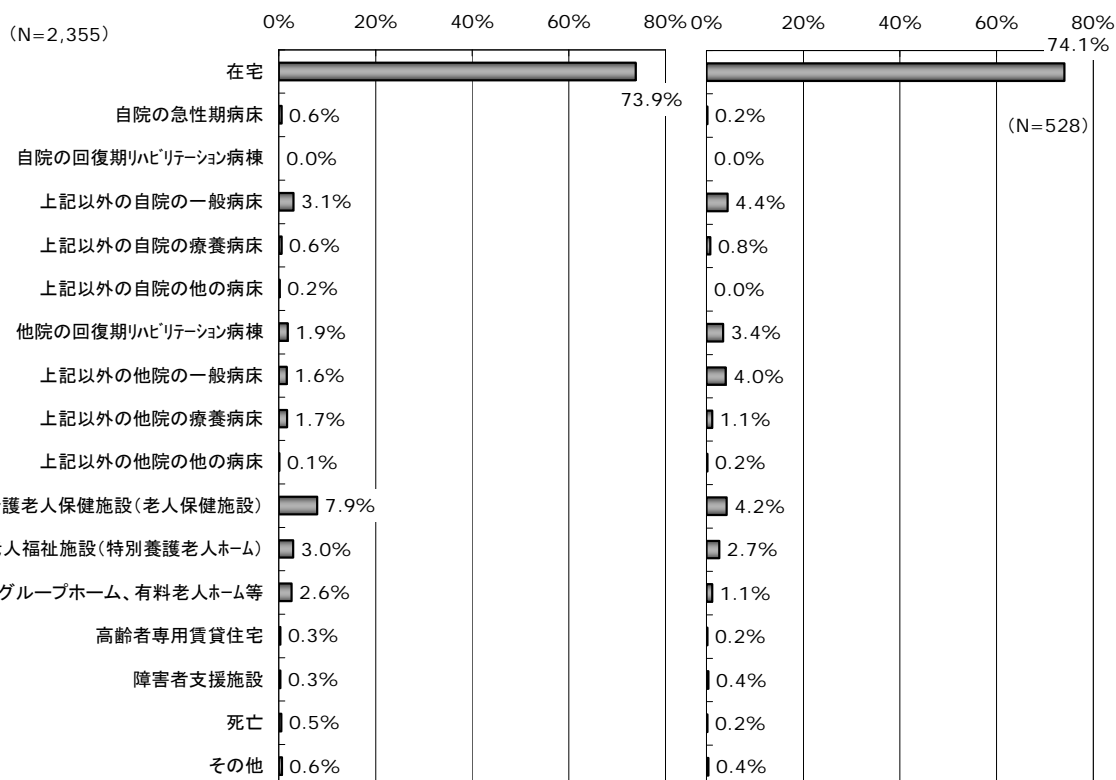


退室先については、「在宅」が74%前後と最も多く、次いで1割に満たないが「介護老人保健施設（老人保健施設）」や「自院の急性期病床・回復期リハ病棟以外の一般病床」などがある。

患者の主傷病別（上位）別にみると、「脳梗塞」「肺炎」では、退室先として「介護施設等」や「他院」の割合がやや大きくなる。

図表 3-74 退室先

[亜急性期入院医療管理料1] [亜急性期入院医療管理料2]



図表 3-75 主な傷病別にみた退室先

[亜急性期入院医療管理料1]

順位	傷病名	退室先							合計
		在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
1	骨折(N=722)	78.9%	3.2%	4.7%	10.7%	0.1%	0.7%	1.7%	100.0%
2	関節症(N=226)	93.4%	3.1%	1.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.4%	100.0%
3	脳梗塞(N=180)	58.9%	8.3%	8.9%	21.1%	0.6%	1.7%	0.6%	100.0%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=119)	88.2%	3.4%	0.8%	5.9%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%
5	肺炎(N=101)	41.6%	5.0%	11.9%	34.7%	5.0%	2.0%	0.0%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料2]

順位	傷病名	退室先							合計
		在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
1	骨折(N=144)	70.1%	4.2%	13.2%	10.4%	0.0%	0.0%	2.1%	100.0%
2	関節症(N=52)	88.5%	1.9%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	5.8%	100.0%
3	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患(N=39)	87.2%	2.6%	5.1%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	100.0%
4	その他の損傷及びその他の外因の影響(N=33)	97.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5	脳梗塞(N=32)	59.4%	6.3%	15.6%	9.4%	0.0%	0.0%	9.4%	100.0%

図表 3-76 傷病大分類にみた退室先

【亜急性期入院医療管理料1】

		退室先						合計
		在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	
傷病大分類	感染症及び寄生虫症 (N=16)	68.8%	6.3%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	新生物 (N=49)	61.2%	10.2%	10.2%	16.3%	0.0%	2.0%	100.0%
	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (N=10)	50.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%
	内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=56)	76.8%	5.4%	3.6%	12.5%	0.0%	1.8%	100.0%
	精神及び行動の障害 (N=16)	75.0%	6.3%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	100.0%
	神経系の疾患 (N=51)	66.7%	9.8%	2.0%	21.6%	0.0%	0.0%	100.0%
	眼及び付属器の疾患 (N=3)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	耳及び乳様突起の疾患 (N=6)	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	循環器系の疾患 (N=364)	57.4%	7.1%	8.8%	24.7%	0.8%	1.1%	100.0%
	呼吸器系の疾患 (N=147)	48.3%	4.8%	9.5%	32.0%	3.4%	2.0%	100.0%
	消化器系の疾患 (N=96)	57.3%	6.3%	6.3%	28.1%	1.0%	1.0%	100.0%
	皮膚及び皮下組織の疾患 (N=25)	52.0%	16.0%	16.0%	16.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=608)	89.6%	2.8%	2.3%	5.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	腎尿路生殖系の疾患 (N=33)	60.6%	9.1%	0.0%	30.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	症状、徴候等で他に分類されないもの (N=14)	71.4%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=798)	80.5%	3.0%	5.4%	10.4%	0.1%	0.6%	100.0%
	不明 (N=38)	84.2%	0.0%	7.9%	7.9%	0.0%	0.0%	100.0%
合計 (N=2,330)	74.7%	4.5%	5.4%	14.3%	0.5%	0.6%	100.0%	

【亜急性期入院医療管理料2】

		退室先						合計
		在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	
傷病大分類	感染症及び寄生虫症 (N=2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	新生物 (N=6)	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (N=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=7)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	精神及び行動の障害 (N=5)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	神経系の疾患 (N=10)	60.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	眼及び付属器の疾患 (N=3)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	耳及び乳様突起の疾患 (N=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	循環器系の疾患 (N=74)	60.8%	6.8%	18.9%	12.2%	0.0%	1.4%	100.0%
	呼吸器系の疾患 (N=25)	44.0%	12.0%	12.0%	32.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	消化器系の疾患 (N=31)	74.2%	12.9%	0.0%	12.9%	0.0%	0.0%	100.0%
	皮膚及び皮下組織の疾患 (N=5)	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=143)	92.3%	2.1%	4.2%	1.4%	0.0%	0.0%	100.0%
	腎尿路生殖系の疾患 (N=9)	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	症状、徴候等で他に分類されないもの (N=4)	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=178)	75.8%	3.9%	11.2%	9.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	不明 (N=10)	80.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	100.0%
合計 (N=513)	76.2%	5.5%	9.0%	8.8%	0.2%	0.4%	100.0%	

患者の年齢階級別の退室先では、年齢が上がるにつれ「在宅」の割合が小さくなり、「介護施設等」への割合が大きくなる傾向にある。

また、世帯構成別にも「単独世帯」では「介護施設等」の割合がやや大きい。

図表 3-77 年齢階級別にみた退室先

〔亜急性期入院医療管理料1〕

年齢	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
40歳未満(N=83)	91.6%	2.4%	3.6%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%	100.0%
40歳代(N=65)	92.3%	3.1%	1.5%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
50歳代(N=165)	92.1%	1.8%	3.6%	1.2%	0.6%	0.6%	0.0%	100.0%
60～65歳未満(N=104)	87.5%	1.9%	1.9%	7.7%	0.0%	0.0%	1.0%	100.0%
65～70歳未満(N=168)	81.0%	1.8%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.6%	100.0%
70～75歳未満(N=300)	79.0%	4.3%	6.0%	8.0%	0.3%	1.0%	1.3%	100.0%
75～80歳未満(N=430)	79.5%	4.0%	5.6%	9.1%	0.2%	0.5%	1.2%	100.0%
80～85歳未満(N=455)	68.8%	5.3%	5.5%	16.9%	0.7%	1.1%	1.8%	100.0%
85～90歳未満(N=346)	59.5%	6.9%	5.8%	24.9%	1.2%	0.9%	0.9%	100.0%
90歳以上(N=224)	52.7%	5.4%	5.4%	34.4%	0.9%	0.4%	0.9%	100.0%
不明(N=15)	60.0%	13.3%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	73.9%	4.4%	5.4%	14.1%	0.5%	0.6%	1.1%	100.0%

〔亜急性期入院医療管理料2〕

年齢	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
40歳未満(N=36)	91.7%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	100.0%
40歳代(N=13)	92.3%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
50歳代(N=52)	84.6%	1.9%	5.8%	5.8%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%
60～65歳未満(N=38)	86.8%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	100.0%
65～70歳未満(N=42)	95.2%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
70～75歳未満(N=48)	89.6%	2.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	100.0%
75～80歳未満(N=88)	69.3%	8.0%	13.6%	5.7%	0.0%	0.0%	3.4%	100.0%
80～85歳未満(N=92)	70.7%	4.3%	9.8%	8.7%	1.1%	0.0%	5.4%	100.0%
85～90歳未満(N=59)	50.8%	8.5%	8.5%	28.8%	0.0%	1.7%	1.7%	100.0%
90歳以上(N=54)	48.1%	9.3%	18.5%	20.4%	0.0%	1.9%	1.9%	100.0%
不明(N=6)	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	74.1%	5.3%	8.7%	8.5%	0.2%	0.4%	2.8%	100.0%

図表 3-78 世帯構成別に見た退室先

【亜急性期入院医療管理料 1】

世帯構成	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
単独世帯(N=671)	63.3%	4.3%	5.5%	23.8%	0.6%	1.5%	0.9%	100.0%
同居有り世帯(N=1,627)	78.2%	4.5%	5.2%	10.2%	0.5%	0.3%	1.1%	100.0%
不明(N=57)	73.7%	3.5%	8.8%	12.3%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
合計	73.9%	4.4%	5.4%	14.1%	0.5%	0.6%	1.1%	100.0%

【亜急性期入院医療管理料 2】

世帯構成	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
単独世帯(N=137)	55.5%	8.0%	15.3%	19.0%	0.0%	1.5%	0.7%	100.0%
同居有り世帯(N=381)	80.1%	4.5%	6.6%	5.0%	0.3%	0.0%	3.7%	100.0%
不明(N=10)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	74.1%	5.3%	8.7%	8.5%	0.2%	0.4%	2.8%	100.0%

院内クリニカルパスの実施状況別には、実施無しの場合に退室先として「介護施設等」が若干増えている。また、日常生活機能評価について、管理料 1 では評価点数が大きくなるほど「在宅」の割合は小さくなり、「介護施設等」「他院」などがやや大きくなる傾向にある。

図表 3-79 院内クリニカルパスの実施の有無別に見た退室先

【亜急性期入院医療管理料 1】

院内クリニカルパス	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
有(N=432)	79.6%	3.2%	5.8%	9.7%	0.2%	0.9%	0.5%	100.0%
無(N=1,868)	72.1%	4.8%	5.4%	15.5%	0.6%	0.6%	1.2%	100.0%
合計	73.5%	4.5%	5.4%	14.4%	0.5%	0.7%	1.0%	100.0%

【亜急性期入院医療管理料 2】

院内クリニカルパス	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
有(N=147)	72.1%	4.8%	12.2%	6.8%	0.0%	0.0%	4.1%	100.0%
無(N=350)	74.0%	5.7%	7.7%	9.4%	0.3%	0.6%	2.3%	100.0%
合計	73.4%	5.4%	9.1%	8.7%	0.2%	0.4%	2.8%	100.0%

図表 3-80 日常生活機能評価別に見た退室先

〔亜急性期入院医療管理料 1〕

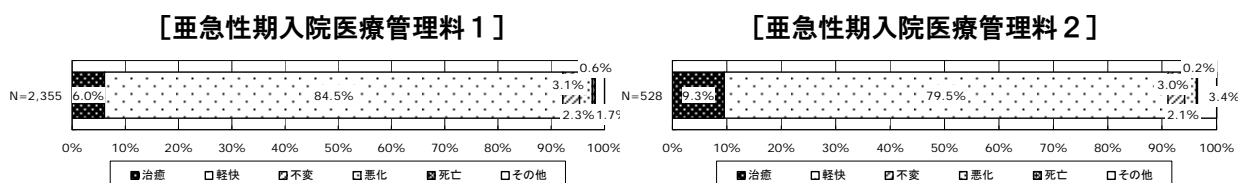
日常生活機能評価	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
0点(N=521)	89.3%	1.9%	1.9%	5.4%	0.0%	0.2%	1.3%	100.0%
1～4点(N=351)	79.2%	3.1%	4.0%	12.0%	0.3%	0.9%	0.6%	100.0%
5～9点(N=100)	49.0%	15.0%	10.0%	23.0%	0.0%	2.0%	1.0%	100.0%
10～14点(N=85)	44.7%	12.9%	10.6%	30.6%	0.0%	1.2%	0.0%	100.0%
15～19点(N=51)	17.6%	15.7%	29.4%	31.4%	3.9%	2.0%	0.0%	100.0%
不明(N=1,247)	72.3%	3.9%	5.5%	15.9%	0.7%	0.6%	1.2%	100.0%
合計	73.9%	4.4%	5.4%	14.1%	0.5%	0.6%	1.1%	100.0%

〔亜急性期入院医療管理料 2〕

日常生活機能評価	退室先							合計
	在宅	自院	他院	介護施設等	死亡	その他	不明	
0点(N=142)	90.8%	2.8%	2.8%	1.4%	0.0%	0.7%	1.4%	100.0%
1～4点(N=56)	51.8%	8.9%	19.6%	17.9%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
5～9点(N=14)	21.4%	7.1%	42.9%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	100.0%
10～14点(N=23)	78.3%	8.7%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15～19点(N=2)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明(N=291)	72.9%	4.8%	8.2%	9.6%	0.3%	0.3%	3.8%	100.0%
合計	74.1%	5.3%	8.7%	8.5%	0.2%	0.4%	2.8%	100.0%

亜急性期入院医療管理料 1、2 の患者の転帰については、8 割前後が「軽快」であり、「治癒」は 1 割に満たっていない。

図表 3-81 転帰



⑮ 亜急性期病室の退室患者の日常生活機能評価とバーセル指数

亜急性期入院医療管理料 1 の患者は、日常生活機能評価は「0 点」が 22.1%、「1～4 点」が 14.9%であり、バーセル指数は「80～100 点」が 27.4%である。ただし、いずれも「不明」が 5 割を超えていることに留意する必要がある。

また、日常生活機能評価では、「衣服の着脱」の平均値が最も高く 0.51 点、バーセル指数では「移乗」が 10.98 点で最も高い。

亜急性期入院医療管理料 2 の患者は、日常生活機能評価は「0 点」が 26.9%、「1～4 点」が 10.6%であり、バーセル指数は「80～100 点」が 36.0%である。ただし、いずれも「不明」が 4 割を超えていることに留意する必要がある。

また、日常生活機能評価では、「衣服の着脱」の平均値が最も高く 0.50 点、バーセル指数では「移乗」が 12.16 点で最も高い。

図表 3-82 日常生活機能評価とバーゼル指数

[亜急性期入院医療管理料1]

	0点	1~4点	5~9点	10~14点	15~19点	不明	合計
日常生活機能評価(N=2,355)	22.1%	14.9%	4.2%	3.6%	2.2%	53.0%	100.0%

	0点	5~20点	25~50点	55~75点	80~100点	不明	合計
バーゼル指数(N=2,355)	4.5%	3.8%	5.1%	6.8%	27.4%	52.3%	100.0%

日常生活機能評価	平均値	標準偏差	バーゼル指数	平均値	標準偏差
床上安静の指示(N=1,434)	0.06点	0.23	食事(N=1,197)	8.22点	3.34
どちらかの手を胸元まで持ち上げられる(N=1,426)	0.09点	0.28	移乗(N=1,192)	10.98点	5.48
寝返り(N=1,520)	0.31点	0.62	整容(N=1,191)	3.52点	2.31
起き上がり(N=1,494)	0.18点	0.39	トイレ動作(N=1,194)	7.23点	3.95
座位保持(N=1,518)	0.26点	0.56	入浴(N=1,168)	2.27点	2.49
移乗(N=1,513)	0.45点	0.71	平地歩行(N=1,186)	9.99点	5.97
移動方法(N=1,164)	0.40点	0.49	階段昇降(N=1,168)	5.33点	4.30
口腔清潔(N=1,499)	0.22点	0.42	更衣(N=1,193)	6.83点	4.00
食事摂取(N=1,519)	0.28点	0.59	排便コントロール(N=1,194)	7.51点	3.85
衣服の着脱(N=1,516)	0.51点	0.72	排尿コントロール(N=1,194)	7.49点	3.87
他者への意思の伝達(N=1,431)	0.24点	0.55			
診療・療養上の指示が通じる(N=1,417)	0.16点	0.37			
危険行動(N=1,418)	0.14点	0.35			

(参考) 傷病大分類にみた日常生活機能評価点数とバーゼル指数

○日常生活機能評価

日常生活機能評価	N数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
感染症及び寄生虫症	10	3.7	6.273	0	19
新生物	23	4.3	6.079	0	17
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	6	3.2	4.997	0	11
内分泌、栄養及び代謝疾患	18	4.7	5.050	0	17
精神及び行動の障害	9	2.7	4.717	0	14
神経系の疾患	20	5.8	5.730	0	17
眼及び付属器の疾患	2	0.5	0.707	0	1
耳及び乳様突起の疾患	2	2.5	3.536	0	5
循環器系の疾患	165	4.9	5.474	0	18
呼吸器系の疾患	44	8.7	7.201	0	18
消化器系の疾患	37	4.1	5.477	0	17
皮膚及び皮下組織の疾患	16	4.9	6.163	0	17
筋骨格系及び結合組織の疾患	314	1.3	2.610	0	18
腎尿路生殖系の疾患	19	3.9	5.512	0	15
症状、徴候等で他に分類されないもの	5	4.0	4.899	0	12
損傷、中毒及びその他の外因の影響	397	2.0	3.330	0	16
不明	21	3.6	5.372	0	16
合計	1,108	2.9	4.531	0	19

○バーゼル指数

バーゼル指数	N数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
感染症及び寄生虫症	9	67.2	37.175	0	100
新生物	17	50.3	39.901	0	100
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	6	55.8	47.583	0	100
内分泌、栄養及び代謝疾患	28	66.1	39.962	0	100
精神及び行動の障害	9	79.4	32.639	0	100
神経系の疾患	19	44.2	38.632	0	100
眼及び付属器の疾患	2	50.0	70.711	0	100
耳及び乳様突起の疾患	4	93.8	12.500	75	100
循環器系の疾患	176	53.7	37.471	0	100
呼吸器系の疾患	64	34.5	42.155	0	100
消化器系の疾患	47	59.3	40.900	0	100
皮膚及び皮下組織の疾患	15	37.3	43.089	0	100
筋骨格系及び結合組織の疾患	292	81.4	27.118	0	100
腎尿路生殖系の疾患	20	63.8	38.040	0	100
症状、徴候等で他に分類されないもの	4	57.5	44.441	0	95
損傷、中毒及びその他の外因の影響	395	78.5	26.224	0	100
不明	16	46.6	39.821	0	100
合計	1,123	69.2	35.123	0	100

[亜急性期入院医療管理料2]

	0点	1~4点	5~9点	10~14点	15~19点	不明	合計
日常生活機能評価(N=528)	26.9%	10.6%	2.7%	4.4%	0.4%	55.1%	100.0%

	0点	5~20点	25~50点	55~75点	80~100点	不明	合計
バーゼル指数(N=528)	3.0%	3.2%	7.8%	7.8%	36.0%	42.2%	100.0%

日常生活機能評価			バーゼル指数		
	平均値	標準偏差		平均値	標準偏差
床上安静の指示(N=279)	0.13点	0.34	食事(N=314)	8.66点	2.79
どちらかの手を胸元まで持ち上げられる(N=266)	0.13点	0.34	移乗(N=313)	12.16点	4.62
寝返り(N=283)	0.28点	0.60	整容(N=312)	3.64点	2.23
起き上がり(N=276)	0.18点	0.39	トイレ動作(N=314)	7.64点	3.60
座位保持(N=288)	0.29点	0.59	入浴(N=312)	2.58点	2.50
移乗(N=316)	0.41点	0.63	平地歩行(N=310)	10.50点	5.76
移動方法(N=245)	0.29点	0.46	階段昇降(N=312)	5.66点	4.44
口腔清潔(N=271)	0.17点	0.38	更衣(N=313)	7.54点	3.61
食事摂取(N=319)	0.33点	0.59	排便コントロール(N=313)	8.15点	3.46
衣服の着脱(N=316)	0.50点	0.68	排尿コントロール(N=312)	8.11点	3.51
他者への意思の伝達(N=266)	0.26点	0.55			
診療・療養上の指示が通じる(N=251)	0.16点	0.37			
危険行動(N=260)	0.18点	0.39			

(参考) 傷病大分類にみた日常生活機能評価点数とバーゼル指数

○日常生活機能評価

日常生活機能評価		N数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
傷病大分類	感染症及び寄生虫症	2	0.5	0.707	0	1
	新生物	1	6.0	-	6	6
	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.0	0.000	0	0
	内分泌、栄養及び代謝疾患	4	7.0	6.976	0	13
	精神及び行動の障害	5	0.0	0.000	0	0
	神経系の疾患	0	0.0	0.000	0	0
	眼及び付属器の疾患	3	0.0	0.000	0	0
	耳及び乳様突起の疾患	0	0.0	0.000	0	0
	循環器系の疾患	16	4.5	5.453	0	14
	呼吸器系の疾患	8	6.3	6.692	0	13
	消化器系の疾患	12	5.3	6.358	0	14
	皮膚及び皮下組織の疾患	3	0.0	0.000	0	0
	筋骨格系及び結合組織の疾患	61	1.1	3.009	0	14
	泌尿路生殖系の疾患	2	7.5	10.607	0	15
	症状、徴候等で他に分類されないもの	1	0.0	-	0	0
	損傷、中毒及びその他の外因の影響	114	1.8	3.139	0	15
不明	5	3.0	5.657	0	13	
合計	237	2.2	4.065	0	15	

○バーゼル指数

バーゼル指数		N数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
傷病大分類	感染症及び寄生虫症	2	72.5	3.536	70	75
	新生物	3	36.7	37.528	0	75
	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.0	0.000	0	0
	内分泌、栄養及び代謝疾患	5	70.0	42.279	0	100
	精神及び行動の障害	5	99.0	2.236	95	100
	神経系の疾患	3	50.0	45.826	10	100
	眼及び付属器の疾患	0	0.0	0.000	0	0
	耳及び乳様突起の疾患	0	0.0	0.000	0	0
	循環器系の疾患	50	63.1	32.715	0	100
	呼吸器系の疾患	15	44.0	43.268	0	100
	消化器系の疾患	16	74.7	31.805	15	100
	皮膚及び皮下組織の疾患	5	71.0	44.215	0	100
	筋骨格系及び結合組織の疾患	84	87.9	23.340	0	100
	泌尿路生殖系の疾患	5	24.0	37.815	0	90
	症状、徴候等で他に分類されないもの	3	30.0	51.962	0	90
	損傷、中毒及びその他の外因の影響	102	78.4	26.820	0	100
不明	7	77.1	28.847	25	100	
合計	305	74.6	32.182	0	100	

⑯ 退室までの経緯

亜急性期入院医療管理料 1、2 の患者ともに、退室までの経緯として「診療計画書にある推定入院期間どおりの退室」が 46%前後で最も多く、次いで「診療計画書にある推定入院期間より早く退室」が 2 割程で多い。この傾向は、疾病大分類にみてもほぼ同様である。

図表 3-83 退室までの経緯

	亜急性期入院 医療管理料 1 (N=2,355)	亜急性期入院 医療管理料 2 (N=528)
診療計画書にある推定入院期間より早く退室	20.0%	17.8%
診療計画書にある推定入院期間どおりの退室	45.5%	46.6%
病状が安定せず、退室が延びた	12.0%	13.1%
入所・転院する施設の都合で、退棟が延びた	5.1%	4.9%
退棟先である在宅で、家族等の受入れ体制が整わず、退棟が延びた	6.7%	4.0%
退棟先である在宅での介護保険サービスの利用開始待ちのため、退棟が延びた	1.5%	0.9%
その他	5.0%	5.9%
無回答	4.2%	6.8%
合計	100.0%	100.0%

図表 3-84 傷病大分類にみた退室までの経緯

[亜急性期入院医療管理料 1]

傷病大分類		退室までの経緯						合計	
		診療計画書にある推定入院期間より早く退室	診療計画書にある推定入院期間どおりの退室	病状が安定せず、退室が延びた	入所・転院する施設の都合で、退棟が延びた	退棟先である在宅で、家族等の受入れ体制が整わず、退棟が延びた	退棟先である在宅での介護保険サービスの利用開始待ちのため、退棟が延びた		その他
	感染症及び寄生虫症 (N=16)	31.3%	18.8%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	25.0%	100.0%
	新生物 (N=48)	14.6%	50.0%	6.3%	10.4%	8.3%	0.0%	10.4%	100.0%
	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害 (N=10)	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
	内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=53)	34.0%	39.6%	7.5%	5.7%	9.4%	0.0%	3.8%	100.0%
	精神及び行動の障害 (N=16)	18.8%	56.3%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%
	神経系の疾患 (N=51)	21.6%	52.9%	5.9%	11.8%	7.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	眼及び付属器の疾患 (N=2)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	耳及び乳様突起の疾患 (N=6)	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	循環器系の疾患 (N=361)	23.8%	39.9%	8.3%	10.5%	8.9%	3.0%	5.5%	100.0%
	呼吸器系の疾患 (N=143)	17.5%	43.4%	16.8%	9.1%	6.3%	0.7%	6.3%	100.0%
	消化器系の疾患 (N=91)	31.9%	41.8%	7.7%	8.8%	2.2%	0.0%	7.7%	100.0%
	皮膚及び皮下組織の疾患 (N=24)	16.7%	41.7%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	4.2%	100.0%
	筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=577)	19.8%	52.3%	15.3%	1.9%	5.5%	0.9%	4.3%	100.0%
	泌尿生殖器系の疾患 (N=31)	38.7%	29.0%	9.7%	9.7%	3.2%	0.0%	9.7%	100.0%
	症状、徴候等で他に分類されないもの (N=12)	33.3%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	100.0%
	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=781)	18.2%	50.4%	13.2%	3.8%	7.6%	1.9%	4.9%	100.0%
	不明 (N=34)	17.6%	55.9%	8.8%	0.0%	11.8%	5.9%	0.0%	100.0%
	合計 (N=2,256)	20.8%	47.5%	12.5%	5.4%	7.0%	1.6%	5.2%	100.0%

[亜急性期入院医療管理料2]

	退室までの経緯							合計
	該病個室にある 指定入院病室より早 退室	該病個室にある 指定入院病室とおりの 退室	病状が安定せず、 退室が避けた	入所・転院する施設 の都合で、退室が 避けた	退室先である在宅 で、家族等の受入 れ体制が整わず、 退室が避けた	退室先である在宅 での介護施設サー ビスの利用が困難 のため、退室が 避けた	その他	
感染症及び寄生虫 (N=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
新生物 (N=6)	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	100.0%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (N=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患 (N=6)	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
精神及び行動の障害 (N=5)	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
神経系の疾患 (N=10)	10.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%
眼及び付属器の疾患 (N=3)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
耳及び乳様突起の疾患 (N=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
循環器系の疾患 (N=74)	18.9%	58.1%	4.1%	9.5%	4.1%	0.0%	5.4%	100.0%
呼吸器系の疾患 (N=25)	16.0%	56.0%	8.0%	8.0%	4.0%	0.0%	8.0%	100.0%
消化器系の疾患 (N=32)	9.4%	56.3%	9.4%	9.4%	6.3%	3.1%	6.3%	100.0%
皮膚及び皮下組織の疾患 (N=5)	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
筋骨格系及び結合組織の疾患 (N=124)	16.9%	42.7%	23.4%	2.4%	7.3%	2.4%	4.8%	100.0%
腎尿路生殖系の疾患 (N=9)	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
症状、徴候等で他に分類されないもの (N=4)	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (N=178)	22.5%	46.6%	15.7%	6.2%	2.2%	0.6%	6.2%	100.0%
不明 (N=8)	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	100.0%
合計 (N=492)	19.1%	50.0%	14.0%	5.3%	4.3%	1.0%	6.3%	100.0%

⑰ 年齢階級別・世帯構成別にみた入室から退室までの期間

亜急性期入院医療管理料 1、2 の患者ともに、入室から退室までの期間に、年齢階級および世帯構成による顕著な変動傾向はみられない。

図表 3-85 年齢階級別にみた入室から退室までの期間

〔亜急性期入院医療管理料 1〕

年齢	入室から退室まで期間						合計
	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3～4ヶ月未満	4～5ヶ月未満	不明	
40歳未満(N=83)	54.2%	30.1%	10.8%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
40歳代(N=65)	53.8%	20.0%	18.5%	3.1%	0.0%	4.6%	100.0%
50歳代(N=165)	54.5%	27.9%	15.2%	1.2%	0.6%	0.6%	100.0%
60～65歳未満(N=104)	62.5%	29.8%	6.7%	0.0%	0.0%	1.0%	100.0%
65～70歳未満(N=168)	64.9%	19.0%	12.5%	0.0%	0.6%	3.0%	100.0%
70～75歳未満(N=300)	65.7%	21.3%	9.3%	1.0%	0.0%	2.7%	100.0%
75～80歳未満(N=430)	60.2%	25.6%	10.7%	0.7%	0.0%	2.8%	100.0%
80～85歳未満(N=455)	56.5%	27.5%	12.1%	0.7%	0.2%	3.1%	100.0%
85～90歳未満(N=346)	56.6%	26.0%	14.7%	0.9%	0.0%	1.7%	100.0%
90歳以上(N=224)	59.8%	26.8%	11.2%	0.9%	0.0%	1.3%	100.0%
不明(N=15)	53.3%	33.3%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	59.2%	25.5%	11.9%	0.8%	0.1%	2.4%	100.0%

〔亜急性期入院医療管理料 2〕

年齢	入室から退室まで期間									合計
	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3～4ヶ月未満	4～5ヶ月未満	5～6ヶ月未満	6～12ヶ月未満	12ヶ月以上	不明	
40歳未満(N=36)	77.8%	19.4%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
40歳代(N=13)	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
50歳代(N=52)	84.6%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
60～65歳未満(N=38)	60.5%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	100.0%
65～70歳未満(N=42)	59.5%	33.3%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	100.0%
70～75歳未満(N=48)	85.4%	14.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
75～80歳未満(N=88)	68.2%	29.5%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	100.0%
80～85歳未満(N=92)	67.4%	30.4%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
85～90歳未満(N=59)	78.0%	20.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%
90歳以上(N=54)	66.7%	31.5%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明(N=6)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	71.4%	26.3%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.6%	100.0%

図表 3-86 世帯構成別にみた入室から退室までの期間

〔亜急性期入院医療管理料 1〕

世帯構成	入室から退室まで期間						合計
	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3～4ヶ月未満	4～5ヶ月未満	不明	
単独世帯(N=671)	57.8%	26.5%	11.6%	0.7%	0.0%	3.3%	100.0%
同居有り世帯(N=1,627)	59.8%	24.8%	12.2%	0.9%	0.2%	2.2%	100.0%
不明(N=57)	59.6%	35.1%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	59.2%	25.5%	11.9%	0.8%	0.1%	2.4%	100.0%

〔亜急性期入院医療管理料 2〕

世帯構成	入室から退室まで期間									合計
	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3～4ヶ月未満	4～5ヶ月未満	5～6ヶ月未満	6～12ヶ月未満	12ヶ月以上	不明	
単独世帯(N=137)	66.4%	31.4%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	100.0%
同居有り世帯(N=381)	73.0%	24.7%	0.8%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.8%	100.0%
不明(N=10)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	71.4%	26.3%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.6%	100.0%

⑱ 院内クリニカルパス実施の有無・日常生活機能評価別にみた入室から退室までの期間

亜急性期入院医療管理料 1、2 の患者ともに、院内クリニカルパスの実施の有無により入室から退室までの期間がやや異なる。管理料1の患者は、実施有りの場合に「1ヶ月未満」が68.5%、無しの場合に57.3%を占め、実施有りの場合が多く、この傾向は管理料2の患者も同様であるが、管理料1の患者に比べると同期間に占める割合が10%程高い。

図表 3-87 院内クリニカルパスの実施の有無別にみた入室から退室までの期間

〔亜急性期入院医療管理料1〕

院内クリニカルパス	入室から退室まで期間						合計
	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3～4ヶ月未満	4～5ヶ月未満	不明	
有(N=432)	68.5%	19.4%	9.3%	1.2%	0.0%	1.6%	100.0%
無(N=1,868)	57.3%	26.5%	12.7%	0.7%	0.2%	2.6%	100.0%
合計	59.4%	25.2%	12.0%	0.8%	0.1%	2.4%	100.0%

〔亜急性期入院医療管理料2〕

院内クリニカルパス	入室から退室まで期間									合計
	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3～4ヶ月未満	4～5ヶ月未満	5～6ヶ月未満	6～12ヶ月未満	12ヶ月以上	不明	
有(N=147)	77.6%	19.0%	1.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.7%	100.0%
無(N=350)	69.7%	28.6%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	100.0%
合計	72.0%	25.8%	1.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.4%	100.0%

図表 3-88 日常生活機能評価別にみた入室から退室までの期間

〔亜急性期入院医療管理料1〕

日常生活機能評価	入室から退室まで期間						合計
	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3～4ヶ月未満	4～5ヶ月未満	不明	
0点(N=521)	65.6%	24.0%	9.4%	0.6%	0.0%	0.4%	100.0%
1～4点(N=351)	61.3%	24.8%	12.8%	0.9%	0.0%	0.3%	100.0%
5～9点(N=100)	57.0%	24.0%	17.0%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
10～14点(N=85)	58.8%	25.9%	11.8%	1.2%	1.2%	1.2%	100.0%
15～19点(N=51)	66.7%	19.6%	11.8%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明(N=1,247)	55.9%	26.7%	12.3%	0.7%	0.2%	4.3%	100.0%
合計	59.2%	25.5%	11.9%	0.8%	0.1%	2.4%	100.0%

〔亜急性期入院医療管理料2〕

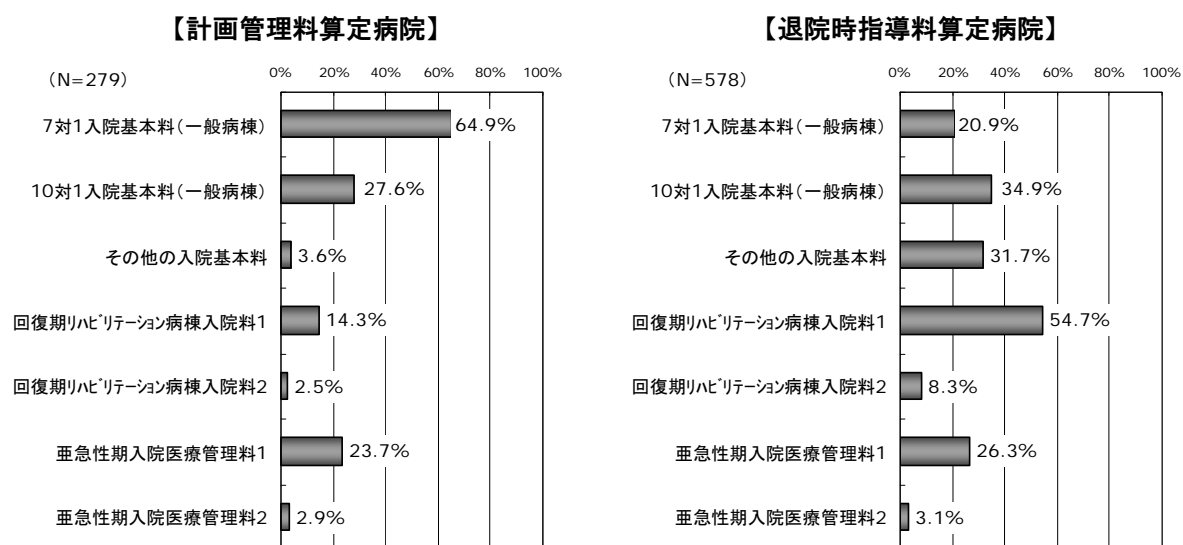
日常生活機能評価	入室から退室まで期間									合計
	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3～4ヶ月未満	4～5ヶ月未満	5～6ヶ月未満	6～12ヶ月未満	12ヶ月以上	不明	
0点(N=142)	74.6%	24.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	100.0%
1～4点(N=56)	51.8%	46.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5～9点(N=14)	71.4%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	100.0%
10～14点(N=23)	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15～19点(N=2)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
不明(N=291)	73.9%	23.4%	1.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.3%	100.0%
合計	71.4%	26.3%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.6%	100.0%

4) 地域連携診療計画管理料及び地域連携診療計画退院時指導料 回答病院

(1) 回答病院の概況

回答施設の診療報酬に係る届出状況についてみると、計画管理料算定病院では、「7対1入院基本料（一般病棟）」64.9%が最も多く、次いで「10対1入院基本料（一般病棟）」27.6%、「亜急性期入院医療管理料1」23.7%などとなっていた。一方、退院時指導料算定病院では、「回復期リハビリテーション病棟入院料1」54.7%が最も多く、次いで「10対1入院基本料（一般病棟）」34.9%、「その他の入院基本料」31.7%などとなっていた。

図表 4-1 診療報酬に係る届出状況【複数回答】



① 計画管理料、退院時指導料に係る状況

回答施設の届出に記載されている計画管理病院、連携保険医療機関の施設数について、大腿骨頸部骨折に係る状況をみると、計画管理料算定病院では、連携保険医療機関として「回復期リハビリテーション病棟入院料届出施設」37.0%が最も多く、次いで「10対1入院基本料（一般病棟）届出病院」20.9%、「療養病棟入院基本料届出病院」20.1%などとなっていた。

一方、退院時指導料算定病院では、計画管理病院として「7対1入院基本料（一般病棟）届出病院」67.7%が最も多く、次いで「10対1入院基本料（一般病棟）届出病院」27.8%、「13対1入院基本料（一般病棟）届出病院」1.4%などとなっていた。

図表 4-2 1施設当たりの届出に記載されている計画管理病院、連携保険医療機関の施設数
[大腿骨頸部骨折]

【地域連携診療計画管理料算定病院における連携保険医療機関数 [大腿骨頸部骨折]

連携保健医療機関	1施設当たり 連携施設数	割合
7対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.59施設	9.3%
10対1入院基本料（一般病棟）届出病院	1.31施設	20.9%
13対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.50施設	8.0%
15対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.93施設	14.8%
療養病棟入院基本料届出病院	1.26施設	20.1%
回復期リハビリテーション病棟入院料届出施設	2.31施設	37.0%
亜急性期入院医療管理料届出施設	0.17施設	2.7%
1施設当たり連携保健医療機関 病 院	6.26施設	100.0%
1施設当たり連携保健医療機関 有床診療所	0.72施設	

※有効回答 147 件で集計

【地域連携診療計画退院時指導料算定病院における計画管理病院数 [大腿骨頸部骨折]

計 画 管 理 病 院	1施設当たり 連携施設数	割合
7対1入院基本料（一般病棟）届出病院	1.45施設	67.7%
10対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.60施設	27.8%
13対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.03施設	1.4%
15対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.00施設	0.1%
療養病棟入院基本料届出病院	0.00施設	0.1%
1施設当たり計画管理病院	2.14施設	100.0%

※有効回答 371 件で集計

また、回答施設の届出に記載されている計画管理病院、連携保険医療機関の施設数について、脳卒中に係る状況をみると、計画管理料算定病院では、連携保険医療機関として「回復期リハビリテーション病棟入院料届出施設」49.6%が最も多く、次いで「療養病棟入院基本料届出病院」20.1%、「10対1入院基本料（一般病棟）届出病院」18.0%などとなっていた。

一方、退院時指導料算定病院では、計画管理病院として「7対1入院基本料（一般病棟）届出病院」63.2%が最も多く、次いで「10対1入院基本料（一般病棟）届出病院」27.3%、「13対1入院基本料（一般病棟）届出病院」1.0%などとなっていた。

図表 4-3 1施設当たりの届出に記載されている計画管理病院、連携保険医療機関の施設数
[脳卒中]

【地域連携診療計画管理料算定病院における連携保険医療機関数 [脳卒中]】

連携保健医療機関	1施設当たり 連携施設数	割合
7対1入院基本料（一般病棟）届出病院	1.01施設	8.9%
10対1入院基本料（一般病棟）届出病院	2.05施設	18.0%
13対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.67施設	5.9%
15対1入院基本料（一般病棟）届出病院	1.14施設	10.0%
療養病棟入院基本料届出病院	2.28施設	20.1%
回復期リハビリテーション病棟入院料届出施設	5.63施設	49.6%
亜急性期入院医療管理料届出施設	0.40施設	3.5%
1施設当たり連携保健医療機関 病 院	11.34施設	100.0%
1施設当たり連携保健医療機関 有床診療所	0.69施設	

※有効回答 169 件で集計

【地域連携診療計画退院時指導料算定病院計画管理病院数 [脳卒中]】

計 画 管 理 病 院	1施設当たり 連携施設数	割合
7対1入院基本料（一般病棟）届出病院	2.79施設	63.2%
10対1入院基本料（一般病棟）届出病院	1.21施設	27.3%
13対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.04施設	1.0%
15対1入院基本料（一般病棟）届出病院	0.03施設	0.6%
療養病棟入院基本料届出病院	0.01施設	0.1%
1施設当たり計画管理病院	4.41施設	100.0%

※有効回答 326 件で集計

回答施設における地域連携診療計画管理料算定患者数について、大腿骨頸部骨折に係る状況をみると、1施設当たり平均30.2人（N=156）となっていた。設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者数は、1施設当たり平均21.0人（N=156）であり、連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者数は、1施設当たり平均24.2人（N=156）であった。

また、各回答施設における計画管理料算定患者数の大腿骨頸部骨折入院患者数に占める割合についてみると、1施設当たり平均29.5%（N=156）となっていた。計画管理料算定患者の割合別に施設数の構成をみると、「19%以下」47.4%が最も多く、次いで「20～49%」27.6%などとなっていた。

図表 4-4 1施設当たり地域連携診療計画管理料算定患者数【大腿骨頸部骨折】

【計画管理料算定病院における算定患者数【大腿骨頸部骨折】】

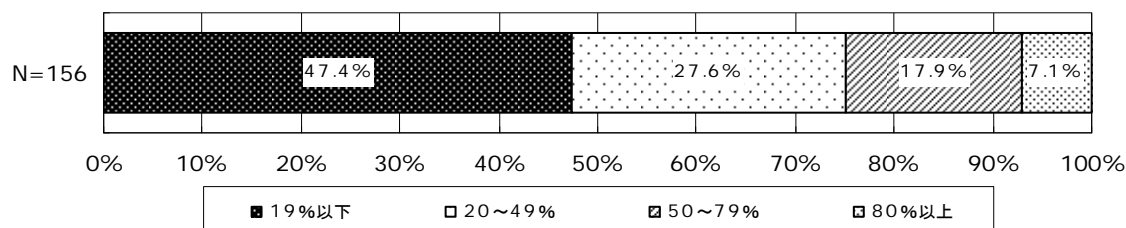
算 定	1施設当たり患者数	割合
大腿骨頸部骨折に係る計画管理料算定患者	30.2人	36.1%
設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者	21.0人	25.1%
連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者	24.2人	28.9%
1施設当たり大腿骨頸部骨折による入院患者	83.5人	100.0%

※有効回答 156 件で集計

【各回答施設における計画管理料算定患者数の大腿骨頸部骨折入院患者数に占める割合】

平均 29.5%

※有効回答 156 件で集計



回答施設における地域連携診療計画退院時指導料算定患者数について、大腿骨頸部骨折に係る状況を見ると、1施設当たり平均10.8人（N=344）となっていた。設定した入院期間内に退院・転院できた患者数は、1施設当たり平均8.0人（N=344）であった。

また、各回答施設における退院時指導料算定患者数の大腿骨頸部骨折入院患者数に占める割合についてみると、1施設当たり平均26.3%（N=344）となっていた。退院時指導料算定患者の割合別に施設数の構成をみると、「19%以下」57.3%が最も多く、次いで「20～49%」18.9%などとなっていた。

図表 4-5 1施設当たり地域連携診療計画退院時指導料算定患者数【大腿骨頸部骨折】

【退院時指導料算定病院における算定患者数【大腿骨頸部骨折】】

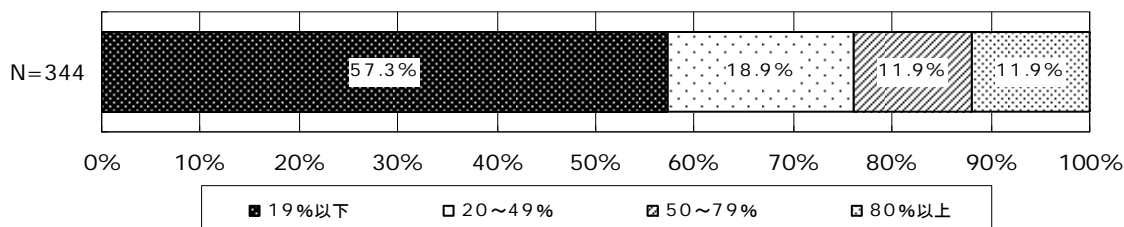
算 定	1施設当たり患者数	割合
大腿骨頸部骨折に係る退院時指導料算定患者	10.8人	21.0%
設定した入院期間内に退院・転院できた患者	8.0人	15.6%
1施設当たり大腿骨頸部骨折による入院患者	51.4人	100.0%

※有効回答 344 件で集計

【各回答施設における退院時指導料算定患者数の大腿骨頸部骨折入院患者数に占める割合】

平均 26.3%

※有効回答 344 件で集計



回答施設における地域連携診療計画管理料算定患者数について、脳卒中に係る状況を見ると、1施設当たり平均32.8人（N=186）となっていた。設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者数は、1施設当たり平均22.7人（N=186）であり、連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者数は、1施設当たり平均22.2人（N=186）であった。

また、各回答施設における計画管理料算定患者数の脳卒中入院患者数に占める割合についてみると、1施設当たり平均13.2%（N=186）となっていた。計画管理料算定患者の割合別に施設数の構成をみると、「19%以下」75.3%が最も多く、次いで「20～49%」18.8%などとなっていた。

図表 4-6 1施設当たり地域連携診療計画管理料算定患者数【脳卒中】

【計画管理料算定病院における算定患者数【脳卒中】】

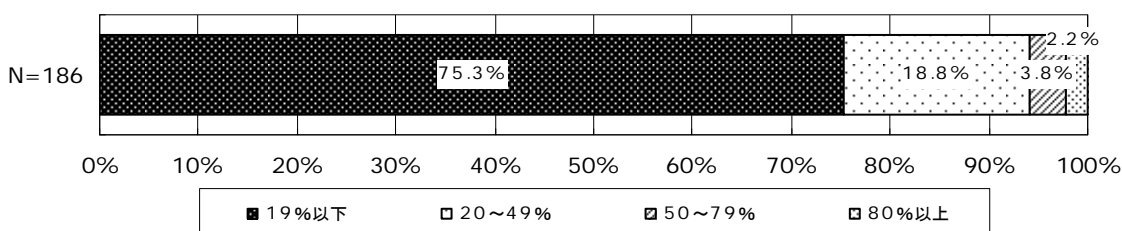
算 定	1施設当たり患者数	割合
脳卒中に係る計画管理料算定患者	32.8人	12.9%
設定した入院期間内に連携医療機関へ転院・退院できた患者	22.7人	8.9%
連携医療機関から診療情報がフィードバックされた患者	22.2人	8.8%
1施設当たり脳卒中による入院患者	254.0人	100.0%

※有効回答 186 件で集計

【各回答施設における計画管理料算定患者数の脳卒中入院患者数に占める割合】

平均 13.2%

※有効回答 186 件で集計



回答施設における地域連携診療計画退院時指導料算定患者数について、脳卒中に係る状況をみると、1施設当たり平均13.5人（N=361）となっていた。設定した入院期間内に退院・転院できた患者数は、1施設当たり平均9.5人（N=361）であった。

また、各回答施設における退院時指導料算定患者数の脳卒中入院患者数に占める割合についてみると、1施設当たり平均16.1%（N=361）となっていた。退院時指導料算定患者の割合別に施設数の構成をみると、「19%以下」77.3%が最も多く、次いで「20～49%」10.2%などとなっていた。

図表 4-7 1施設当たり地域連携診療計画退院時指導料算定患者数【脳卒中】

【退院時指導料算定病院における算定患者数【脳卒中】】

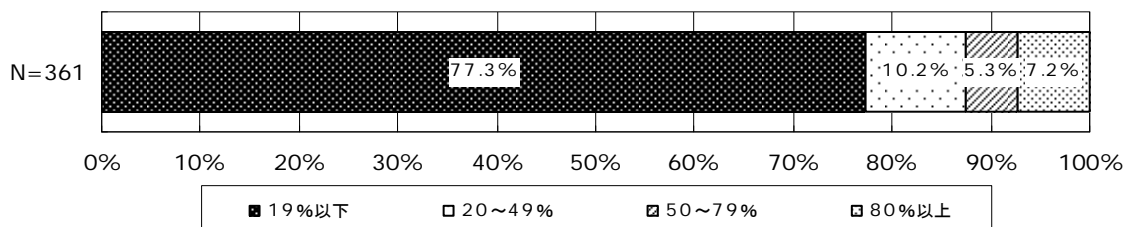
算 定	1施設当たり患者数	割 合
脳卒中に係る退院時指導料算定患者	13.5人	8.5%
設定した入院期間内に退院・転院できた患者	9.5人	6.0%
1施設当たり脳卒中による入院患者	159.0人	100.0%

※有効回答 361 件で集計

【各回答施設における退院時指導料算定患者数の脳卒中入院患者数に占める割合】

平均 16.1%

※有効回答 361 件で集計



回答施設における計画管理料、退院時指導料の算定患者の平均在院日数について、大腿骨頸部骨折に係る状況をみると、計画管理料算定患者では、平成 20 年度で 1 施設当たり平均 26.4 日 (N=118) となっており、大腿骨頸部骨折の入院患者と比較して短い傾向にあった。一方、退院時指導料算定患者では、平成 20 年度で 1 施設当たり平均 61.4 日 (N=218) となっており、計画管理料算定患者と同様、大腿骨頸部骨折の入院患者と比較して短い傾向にあった。

また、脳卒中に係る状況をみると、計画管理料算定患者では、平成 20 年度で 1 施設当たり平均 33.3 日 (N=138) となっており、脳卒中の入院患者と比較してやや長い傾向にあった。一方、退院時指導料算定患者では、平成 20 年度で 1 施設当たり平均 84.0 日 (N=226) となっており、脳卒中の入院患者と比較して短い傾向にあった。

図表 4-8 1 施設当たりの算定患者の平均在院日数 [大腿骨頸部骨折]

○ 地域連携診療計画管理料算定病院 [大腿骨頸部骨折]		
[H19] 計画管理料算定患者…	平均 26.6 日	
大腿骨頸部骨折による入院患者 …	平均 31.2 日	※有効回答 82 件で集計
[H20] 計画管理料算定患者…	平均 26.4 日	
大腿骨頸部骨折による入院患者 …	平均 31.6 日	※有効回答 118 件で集計
○ 地域連携診療計画退院時指導料算定病院 [大腿骨頸部骨折]		
[H19] 退院時指導料算定患者…	平均 61.2 日	
大腿骨頸部骨折による入院患者 …	平均 64.0 日	※有効回答 114 件で集計
[H20] 退院時指導料算定患者…	平均 61.4 日	
大腿骨頸部骨折による入院患者 …	平均 65.3 日	※有効回答 218 件で集計

図表 4-9 1 施設当たりの算定患者の平均在院日数 [脳卒中]

○ 地域連携診療計画管理料算定病院 [脳卒中]		
[H20] 計画管理料算定患者…	平均 33.3 日	
脳卒中による入院患者 …	平均 30.0 日	※有効回答 138 件で集計
○ 地域連携診療計画退院時指導料算定病院 [脳卒中]		
[H20] 退院時指導料算定患者…	平均 84.0 日	
脳卒中による入院患者 …	平均 89.1 日	※有効回答 226 件で集計

回答施設における地域連携診療計画に係る情報交換のための会合の開催回数について、計画管理料算定病院の状況を見ると、大腿骨頸部骨折では平成 20 年度で 1 施設当たり平均 2.58 回 (N=205) となっており、脳卒中では 1 施設当たり平均 2.84 回 (N=236) となっていた。

また、退院時指導料算定病院の状況を見ると、大腿骨頸部骨折では平成 20 年度で 1 施設当たり平均 3.11 回 (N=492) となっており、脳卒中では 1 施設当たり平均 3.70 回 (N=497) となっていた。

図表 4-10 1 施設当たりの地域連携診療計画に係る情報交換のための会合の開催回数

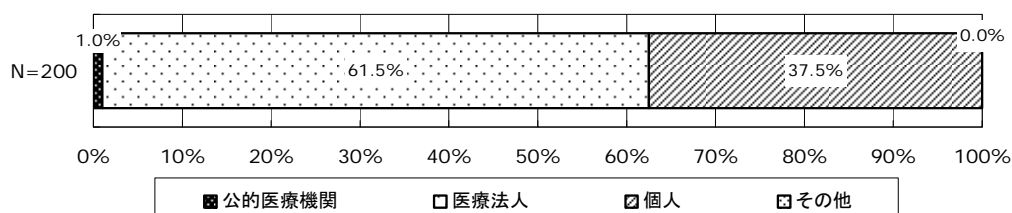
○ 地域連携診療計画管理料算定病院		
…	[大腿骨頸部骨折 H20] 平均 2.58 回	※有効回答 205 件で集計
	[脳 卒 中 H20] 平均 2.84 回	※有効回答 236 件で集計
○ 地域連携診療計画退院時指導料算定病院		
…	[大腿骨頸部骨折 H20] 平均 3.11 回	※有効回答 492 件で集計
	[脳 卒 中 H20] 平均 3.70 回	※有効回答 497 件で集計

5) 診療所調査 回答診療所

(1) 開設者

回答のあった診療所は、「医療法人」が61.5%と最も多く、次いで「個人」が37.5%である。

図表 5-1 開設者



(2) 主たる診療科

主たる診療科は、「内科」「外科」「整形外科」の順に31.6%、16.2%、14.5%であるが、地域連携診療計画退院時指導料の届出ありでは「内科」「整形外科」「外科」の順となり、「内科」34.8%、「整形外科」21.7%とこの2つの診療科で5割を超えている。

図表 5-2 主たる診療科

順位	全体 (N=117)		地域連携診療計画退院時指導料			
			届出なし (N=92)		届出あり (N=23)	
1	内科	31.6%	内科	30.4%	内科	34.8%
2	外科	16.2%	外科	17.4%	整形外科	21.7%
3	整形外科	14.5%	整形外科	13.0%	外科	13.0%
4	産婦人科	11.1%	産婦人科	12.0%	脳神経外科	8.7%
5	脳神経外科	4.3%	消化器科	4.3%	産婦人科	8.7%

(3) 医師数

回答のあった診療所では、医師数の平均が 1.7 人であり、地域連携診療計画退院時指導料の届出なしの診療所では同じ 1.7 人、届出ありでは 1.5 人とやや少ない。

図表 5-3 医師数

	全体 (N=199)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=162)	届出あり (N=31)
医師数	1.7 人	1.7 人	1.5 人

(4) 稼働病床数

稼働病床数は全体で 10.4 床、うち一般病床は 8.5 床である。地域連携診療計画退院時指導料の届出なしの診療所では稼働病床数が 10.2 床、届出ありでは 12 床とやや多く、内訳をみると療養病床数が届出なしに比べ 1.6 床多い。

図表 5-4 稼働病床数

	全体 (N=82)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=64)	届出あり (N=15)
稼働病床数	10.4 床	10.2 床	12.0 床
一般病床数	8.5 床	8.5 床	8.9 床
療養病床数	1.3 床	1.1 床	2.7 床
後期高齢者医療 管理料算定病床数	0.5 床	0.6 床	0.0 床

(5) 平均在院日数

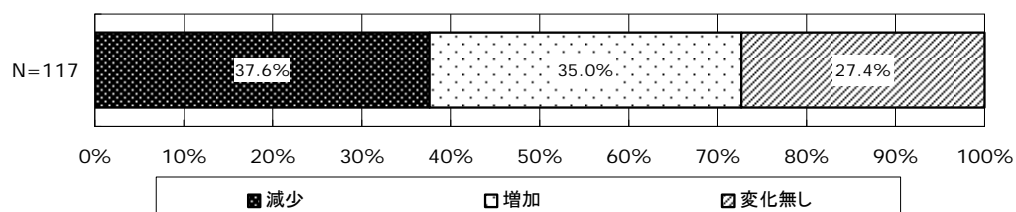
平均在院日数は全体で平成 20 年 4～6 月の 36.5 日から平成 21 年同月の 35.5 日と 1 日減少している。地域連携診療計画退院時指導料の届出なしの診療所では平均在院日数にほぼ変化無く 30 日であるが、届出ありでは平成 20 年 4～6 月に 51.3 日、平成 21 年同月では 48.8 日と 2.5 日減少している。なお、地域連携診療計画退院時指導料の届出のある診療所では、平均在院日数の増加している診療所の割合が 4 割超と大きいのが、平均在院日数が減少している診療所に比較して在院日数変化量が小さいものと想定される。

図表 5-5 平均在院日数

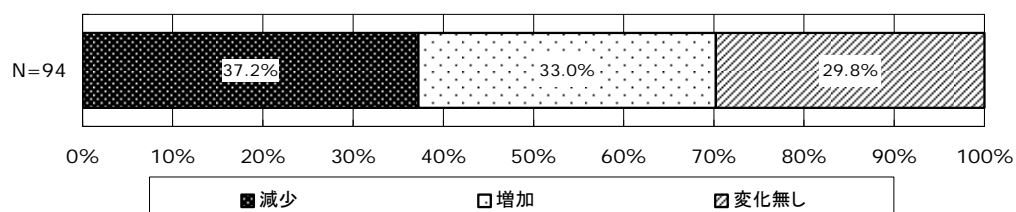
	全体 (N=118)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=95)	届出あり (N=19)
平均在院日数(平成 20 年 4～6 月)	36.5 日	29.9 日	51.3 日
平均在院日数(平成 21 年 4～6 月)	35.5 日	30.0 日	48.8 日

図表 5-6 平均在院日数変化

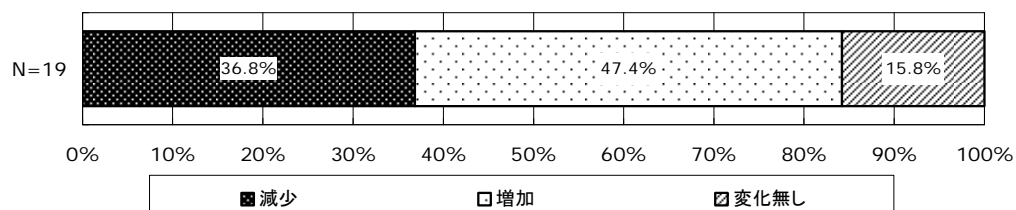
<全体>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出なし>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出あり>



(6) 外来患者延べ数・入院患者延べ数

外来患者延べ数の平均は全体で平成 20 年 6 月の 1616.4 人から平成 21 年同月の 1624.2 人に微増、入院患者延数は平成 20 年同月に 119.0 人、平成 21 年同月に 115.6 人と微減である。

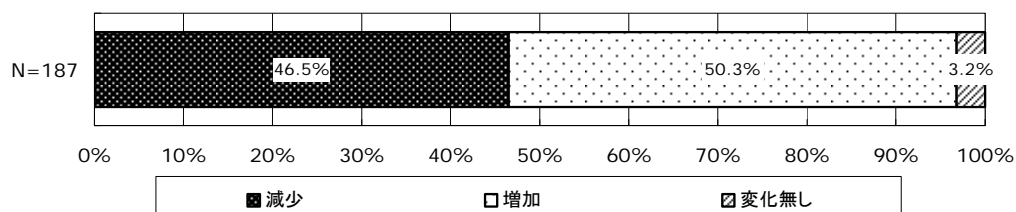
なお、地域連携診療計画退院時指導料の届出ありの診療所は、外来患者延べ数が平成 20 年 6 月に 1530.7 人、平成 21 年同月には 1674.1 人であり、143.4 人の増となっている。

図表 5-7 外来患者延べ数・入院患者延べ数

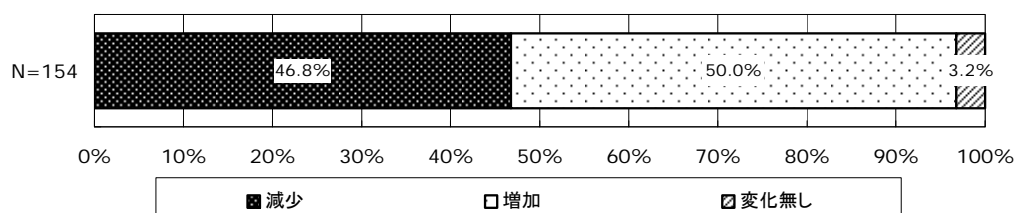
	全体 (N=164)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=134)	届出あり (N=26)
外来患者延べ数(平成 20 年 6 月)	1,616.4 人	1,637.3 人	1,530.7 人
(平成 21 年 6 月)	1,624.2 人	1,621.5 人	1,674.1 人
入院患者延べ数(平成 20 年 6 月)	119.0 人	112.6 人	129.3 人
(平成 21 年 6 月)	115.6 人	108.8 人	127.0 人

図表 5-8 外来患者延べ数変化

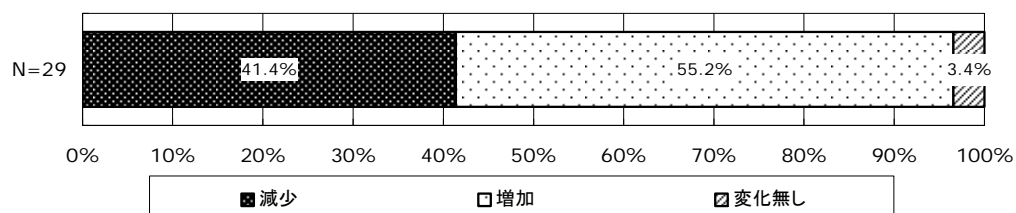
<全体>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出なし>

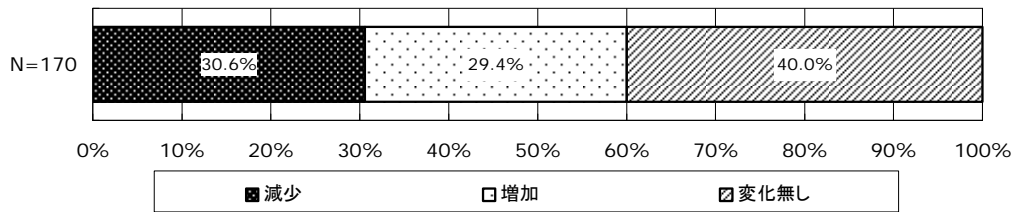


<地域連携診療計画退院時指導料 届出あり>

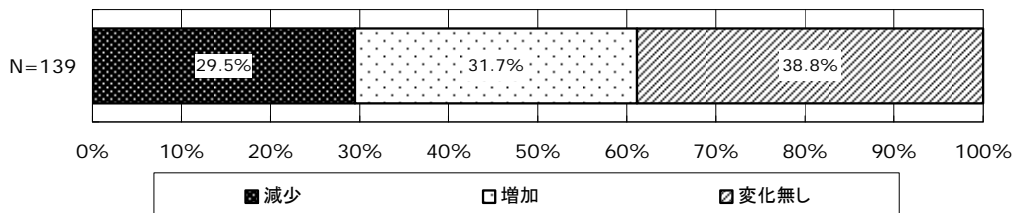


図表 5-9 入院患者延べ数変化

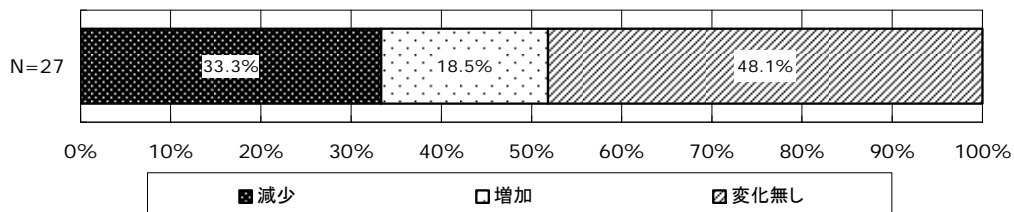
<全体>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出なし>



<地域連携診療計画退院時指導料 届出あり>



(7) 外来患者実人数・病院からの紹介患者数

外来患者の実人数は、全体平均が 778.9 人、地域連携診療計画退院時指導料の届出なしでは 798.7 人、届出ありでは 630.0 人であり、届出ありの外来患者は少ない。また、その内訳である病院からの紹介患者数についても、全体では 5.1 人であるが、届出ありの当該人数は 4.3 人と少ない。

図表 5-10 外来患者実人数・病院からの紹介患者数

	全体 (N=142)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=119)	届出あり (N=21)
外来患者数	778.9 人	798.7 人	630.0 人
病院からの紹介患者数	5.1 人	5.2 人	4.3 人

(8) 新規入院患者数・病院からの転院患者、他診療所からの紹介患者

新規入院患者数は、全体平均が 13.5 人、地域連携診療計画退院時指導料の届出なしでは 14.2 人、届出ありでは 8.1 人であり、届出ありの新規入院患者は少ない。なお、届出ありの診療所では、三次、二次救急病院からの転院患者が若干多い。

図表 5-11 新規入院患者数・病院からの転院患者、他診療所からの紹介患者

	全体 (N=84)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=67)	届出あり (N=16)
新規入院患者数	13.5 人	14.2 人	8.1 人
病院からの転院患者	0.6 人	0.6 人	0.6 人
三次、二次救急病院	0.3 人	0.2 人	0.6 人
亜急性期病室を有する病院	0.1 人	0.1 人	0.0 人
回復期リハビリ病棟を有する病院	0.1 人	0.1 人	0.0 人
療養病床を有する病院	0.1 人	0.1 人	0.0 人
他診療所紹介患者	0.8 人	1.0 人	0.1 人

(9) 退院患者数・他院へ転院した患者など

退院患者数は、全体平均が 11.8 人、地域連携診療計画退院時指導料の届出なしでは 12.1 人、届出ありでは 8.7 人であり、届出ありの退院患者は少ない。なお、他院へ転院した患者については、届出ありの診療所が若干多い。

図表 5-12 退院患者数・他院へ転院した患者など

	全体 (N=85)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=65)	届出あり (N=19)
退院患者数	11.8 人	12.1 人	8.7 人
他院へ転院	0.5 人	0.4 人	0.6 人
自院の外来	8.1 人	7.9 人	6.6 人
他診療所の外来	0.5 人	0.6 人	0.1 人
死亡退院	0.1 人	0.1 人	0.1 人

(10) 紹介・逆紹介の実績がある保険医療機関数

紹介・逆紹介の実績がある病院では、全体平均が 5.4 施設、地域連携診療計画退院時指導料の届出なしでは 5.8 施設、届出ありでは 3.5 施設であり、届出ありの紹介・逆紹介病院は少ない。なお、回復期リハビリ病棟を有する病院については、届出ありの診療所が若干多い。

図表 5-13 紹介・逆紹介の実績がある保険医療機関数

	全体 (N=68)	地域連携診療計画退院時指導料	
		届出なし (N=52)	届出あり (N=15)
病院	5.4 施設	5.8 施設	3.5 施設
三次、二次救急病院	2.7 施設	3.0 施設	1.8 施設
亜急性期病室を有する病院	0.8 施設	0.8 施設	0.7 施設
回復期リハビリ病棟を有する病院	0.6 施設	0.5 施設	0.7 施設
療養病床を有する病院	0.7 施設	0.8 施設	0.5 施設
一般診療所	6.2 施設	6.6 施設	5.1 施設